

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区常盤7丁目4番1号
県内企業等の名称 株式会社 埼玉りそな銀行
代表者役職 氏名 代表取締役社長 福岡 聡

株式会社 埼玉りそな銀行 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業来変わらぬ目指す姿である「埼玉県の皆さまに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行」の実現に向け、地域・お客さまの暮らしや事業の将来にわたる身近で頼りがいのあるパートナーとして行動し、「埼玉版SDGs」の達成に貢献します。
このために社員一人ひとりが「お客さまのこまりごと」「社会課題」を起点に課題解決に取り組むことにより、持続可能な地域社会づくり(SDGs)に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	低炭素社会実現に向け、エネルギー使用量の削減、省エネルギー設備への入替等を進め本社・支店・システムセンターでのCO2排出量を削減する <(現状値)2022年度の数値> 2022年度:10,065t(2013年度比▲33.83%)※2013年度:15,210t	<2030年に向けた指標> 当社のエネルギー使用に伴うCO2排出量実質ゼロ <3年後に向けた指標> 2013年度比で▲85%
社会	従業員参加型・社会貢献活動の推進(本社および浦和中央ビル食堂「子ども食堂応援メニュー※」等を通じた寄付活動) ※1食につき20円を埼玉県社会福祉協議会「こども食堂・未来応援基金」に寄付 <(現状値)2022年度の数値> 累計 5万9千食(寄付額 134万円)	<2030年に向けた指標> 累計 20万食(寄付額 400万円) <3年後に向けた指標> 累計 14万食(寄付額 280万円)
経済	女性ライン管理職※比率の向上 ※ライン管理職…部下のいるマネージャー以上の職層 <(現状値)2022年度の数値> 39.4%	<2030年に向けた指標> 40%以上 <3年後に向けた指標> 40%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、現状から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 29日
住 所 埼玉県さいたま市北区日進町3-37-1
県内企業等の名称 株式会社 八洲電業社
代表者役職氏名 代表取締役 吉村 光司

株式会社 八洲電業社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

経営理念「我社は顧客に喜ばれる仕事を通して社員の幸福を増進し、会社の発展と繁栄を期し、地域社会に貢献することを経営の基本理念とする」のもと、持続可能な開発目標(SDGs)を推進し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	本社CO2排出量の削減を行い、カーボンオフセットの倍率を向上する。(目標.7) <(現状値)2022年の数値>16.6倍のCO2削減量 本社CO2排出量:56,300kg-CO2 当社発電事業削減量:937,158kg-CO2 ※指標基準値<2019年度数値>約18倍のCO2削減量 本社CO2排出量:55,100kg-CO2 当社発電事業削減量:994,436kg-CO2	<2030年に向けた指標> CO2削減量を25倍 <3年後に向けた指標> CO2削減量を20倍
社会	工事を通じて持続可能なまちづくりに貢献する(目標.11) <(現状値)2022年の数値> 優秀工事表彰受賞:累計 3件 ※指標基準値<2019年度> 優秀工事表彰受賞:2019年度 1件	<2030年に向けた指標> 2020年度から累計10件受賞 <3年後に向けた指標> 2020年度から累計3件受賞
経済	持続可能な経済成長を実施し、経済生産性の向上を図る(目標.8) <(現状値)2022年の数値> 完工高:808,730千円 50.4%減 ※指標基準値<2019年度過去3年平均> 完工高:1,631,834千円	<2030年に向けた指標> 基準値比 過去3年平均完工高 10%増 <3年後に向けた指標> 基準値比 過去3年平均完工高 3%増

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月16日
住 所 埼玉県さいたま市南区太田窪1957第3星野ビル2F
県内企業等の名称 株式会社警備ログ
代表者役職 氏名 代表取締役社長 長谷川 功一

株式会社警備ログ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

エンタメの力で日本の衣類廃棄削減を実現し、持続可能な循環社会を目指す「古着(ゴミ)から服をつくるペルプロプロジェクト」等を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	衣類廃棄の削減、リサイクル利用率の向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①衣類の廃棄回収数:800着/1年 ②回収した衣類からのリサイクル数:10着/1年	<2030年に向けた指標> ①2,000着/年 ②1,000着/年 <3年後に向けた指標> ①1,000着/年 ②500着/年
社会	清掃活動・フードパントリー支援活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①清掃活動:8回/年 ②フードパントリー支援活動:6回/年	<2030年に向けた指標> ①24回/年 ②24回/年 <3年後に向けた指標> ①12回/年 ②12回/年
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 女性の管理職数:0名/1名	<2030年に向けた指標> 2名 <3年後に向けた指標> 1名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 19 日
住 所 埼玉県川越市六軒町
県内企業等の名称 岩堀建設工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 岩堀 和久

岩堀建設工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業以来の企業理念「生業以業、仕事を通じて楽しく生きる」を行動規範とし、時代の一步先を目指し、社員一人一人が誠実に、地道に事業活動(ISO目標達成の推進を含む)に邁進することが、SDGsの目標を達成すると受け止め、持続可能な地域社会の構築に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減、及び再生可能エネルギー発電所の建設を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ・エネルギー使用量の削減:1.5% (基準値:2020年 1.4MW) ・再生可能エネルギー発電量:5倍増 (基準値:2020年 6,990kw)	<2030年に向けた指標> エネルギー使用量の削減:5%、再生可能エネルギー発電量10倍増 <3年後に向けた指標> エネルギー使用量の削減:2.1%、再生可能エネルギー発電量6倍増
社会	社員参加型・社員貢献活動の推進 <(現状値)2023年の数値> ロードサポート活動:6回/年・延べ60名	<2030年に向けた指標> ロードサポート活動:12回/年・延べ120名 <3年後に向けた指標> ロードサポート活動:7回/年・延べ65名
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ・女性の管理職割合:15% ・高齢者の雇用率:40%	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合:30%、高齢者の雇用比率:50% <3年後に向けた指標> 女性の管理職割合:15%、高齢者の雇用比率:40%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 15 日

住 所 埼玉県北本市中丸9-20

県内企業等の名称 株式会社ノヴァ

代表者役職 氏名 代表取締役社長 ブッシュ 一木

株式会社ノヴァ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は3つの柱「Organic」、「Delicious」、「Sustainability」を軸に事業を展開。主に、有機農産物(有機ドライフルーツ・ナッツ)を取扱う。有機栽培は、長期的に取組を継続することで環境への持続的な効果・改善をもたらし、正に、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方の一つを体現したものである。有機食品を取扱う為には、有機性の維持・管理と、継続的な記録が必須であり、これを遵守する為に、従業員一人一人が自覚を持ち業務にあたっている。今後も、有機食品の取扱いを継続することで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	有機食品の取扱量増加による有機生産者 買い支えの実現拡大 <(現状値)2023年の数値> 有機食品取扱量:206t/年	<2030年に向けた指標> 2023年比 有機食品取扱量:20t増(10%増) <3年後に向けた指標> 2023年比 有機食品取扱量:6t増(3%増)
社会	地域資源を活用した商品開発 <(現状値)2023年の数値> 地域資源を活用した商品開発:2点	<2030年に向けた指標> 新規商品開発点数:7点 (2024年:3点、2025~2030年:2点) <3年後に向けた指標> 新規商品開発点数:2点 (実績2022年:2点)
経済	多様な働き方の推進と人材の育成 <(現状値)2023年の数値> ①女性管理職:4人 ②高齢者雇用者数:4人 ③キャリア形成・学習講座の受講件数:11件 (2021年~2023年の累計) ※当初宣言時の指標は1件/年であるが、好調な現状に合わせて指標の上方修正を行った	<2030年に向けた指標> ①5人 ②8人 ③3件/年 <3年後に向けた指標> ①4人 ②4人 ③2件/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月5日

住 所 埼玉県さいたま市西区三橋5-1834-1

県内企業等の名称 株式会社丸電

代表者役職 氏名 代表取締役 丸山 正

株式会社丸電

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「私たちは互いの幸せと豊かな暮らしを追及し、協調の基に成長を続け、社会に感動的で 価値のある仕事を提供しよう」の企業理念の基、地域の持続的な発展に向け、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①埼玉県エコアップ認証企業の指標を基に、持続的な環境負荷低減に努める ②国土交通省大宮国道事務所とタイアップし、地域の環境美化に貢献する <(現状値)2022年の数値> ①従業員1人当たりのCO2排出量:3.66t/人 ②環境美化活動:年間10回 延べ50人	<2030年に向けた指標> ①3.48t/人 ②年間12回 120人 <3年後に向けた指標> ①3.59t/人 ②年間12回 80人
社会	多様な働き方実践企業認定制度の指標を基に、更なる企業のダイバーシティ化を推進していく。 <(現状値)2022年の数値> ①産休後の復職率:100% ②女性の技術職割合:5.6% ③高齢者の雇用比率:5.6%	<2030年に向けた指標> ①100% ②10% ③10% <3年後に向けた指標> ①100% ②8% ③8%
経済	①働きがいと経済成長の探求 ②持続的な技術力の開発と向上 <(現状値)2022年の数値> ①ES調査満足度:67.8%(偏差値56.2) ②施工管理技術検定1級・2級取得者:30名	<2030年に向けた指標> ①80%(偏差値65.0) ②1級合格者40名 <3年後に向けた指標> ①70%(偏差値60.0) ②1級合格者35名

【記載留意点】

・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。

・指標は原則として数値目標を記載してください。

・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 6日
住 所 埼玉県秩父市大野原742番地
県内企業等の名称 秩父土建株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 三ツ井 一浩
(令和6年4月10日 変更)

秩父土建株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

『当社は、秩父連山に囲まれ、荒川水系源に位置します。「自然環境と調和した人間環境の創造」というスローガンの下、人間も生態系の中の一部という位置づけとして建設業という活動を行っています。全社員一丸となり、誠実に事業活動に取り組むことで、都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にすることでSDGs達成に貢献します。』
当社は、品質の向上を目指し、安心・安全のライフラインを守る会社です。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	従業員一丸となって、再生可能エネルギーの自家利用率を向上させます。 ・本社→秩父電力(再生可能エネルギー)の購入 ・各現場→ソーラー発電の実施 <(現状値)2023年の数値> ・再生エネルギー利用率:11.6%(現場含む)	<2030年に向けた指標> 再生エネルギー利用率:35% <3年後に向けた指標> 再生エネルギー利用率:23%
社会	建設業者として、地域貢献を積極的に実施します。 ・ロードサポートの参加 ・川の国応援団制度の参加 ・工事現場でのボランティア <(現状値)2023年の数値> ・ボランティア活動回数:17回/年	<2030年に向けた指標> ボランティア活動回数:40回/年 <3年後に向けた指標> ボランティア活動回数:25回/年
経済	私たちは、土木エンジニアの精神に基づき、工事特性及び地域特性を考慮した新技術、創意工夫により高品質な公共工事を提供します。 <(現状値)2023年の数値> ・環境負荷軽減施工提案率:42%	<2030年に向けた指標> 環境負荷軽減施工提案率:100% <3年後に向けた指標> 環境負荷軽減施工提案率:75%以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 30日
住 所 埼玉県加須市北大桑66-1
県内企業等の名称 株式会社 ハヤカワ
代表者役職 氏名 代表取締役 早川 功

株式会社 ハヤカワ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は企業理念「SAFETY & COMPLIANCE」を通じて、法令順守をしながら会社及び社会の安全企業を目指すことで社会貢献したいと考えております。
このことはSDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりがそのことを理解・自覚して行動し、各自の役割を果たすことによりSDGsの達成を目指してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷の低減。①環境性能の高い運送車両の購入、②環境負荷の少ない商品の使用、③エコ運転による大気汚染、燃料の削減 <(現状値)2023年の数値> ①環境配慮型車両:24% ②エコ商品使用率:8% ③燃費:2.70Km/L(前年度対比0.05%削減)	<2030年に向けた指標> ①80%以上 ②80%以上 ③燃料7%削減 <3年後に向けた指標> ①30%以上 ②30%以上 ③燃料3%削減
社会	社員の労働安全衛生、教育及び女性登用 <(現状値)2023年の数値> ①改善をしながら労災を起こさない会社:1件有り ②資格取得全額補助、安全セミナーの参加:社員30% ③管理職社員の女性比率の向上:20%	<2030年に向けた指標> ①労災ゼロ ②社員100% ③管理職職員30%以上 <3年後に向けた指標> ①労災ゼロ ②社員50%以上 ③管理職職員20%以上
経済	働き方改革及び機器等を使った安全確保 <(現状値)2023年の数値> ①定年延長:正社員65歳に繰上げ ②定年延長に伴う外部高齢者の採用:高齢者比率7.5% ③ドラレコ、バックモニター、自動ブレーキ等最新安全機器の採用:車両比率19%	<2030年に向けた指標> ①正社員70歳 ②高齢者比率20%以上 ③車両比率100% <3年後に向けた指標> ①正社員65歳 ②高齢者比率10%以上 ③車両比率30%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 20日
住 所 埼玉県朝霞市根岸台2-15-5
県内企業等の名称 株式会社 山定物流
代表者役職 氏名 代表取締役 内田 百合子

株式会社 山定物流 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

山定物流では、物流業界の将来のため、誰もが安心安全で暮らせるために2030年に向けた国際社会の共通目標であるSDGsへの取り組みの重要性を認識し、持続可能な社会の実現に向けた活動を積極的に展開していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境性能に優れた車両の導入。車種(2・4・大型)保有台数の見直しにより、効率良い車両での輸送を目指す。 <(現状値)2023年の数値> CO2排出量:792,135kg-Co2	<2030年に向けた指標> CO2排出8%減 <3年後に向けた指標> CO2排出4%減
社会	交通遺児等育成基金への寄付 <(現状値)2023年の数値> 寄附実績:19,003円/年 ※2022年度寄付額 16,731円/年	<2030年に向けた指標> 交通遺児等育成寄付10%増 <3年後に向けた指標> 交通遺児等育成寄付5%増
経済	高齢者雇用の拡大 <(現状値)2023年の数値> 従業員48名 6名の高齢者を雇用中 ※倉庫業拡大等の環境整備によって、高齢者を含めた全体の雇用人数増を図っていく	<2030年に向けた指標> 高齢者継続雇用12.5% <3年後に向けた指標> 高齢者継続雇用12.5%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 1日

住 所 埼玉県さいたま市桜区西堀8丁目21番35号

県内企業等の名称 株式会社カタヤマ

代表者役職 氏名 代表取締役 片山 雄一郎

株式会社カタヤマ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「私たちは常に研鑽し、すぐれた技術と想像力により、お客様に高い満足と喜びを与え、豊かな地域社会の実現に貢献し、企業の繁栄と社員の幸せをめざします。」に基づき、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が自覚をもち、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	○エコカー使用率100%を維持 ○省エネPC使用率100%を維持 <(現状値)2023年の数値> ①IICa-使用率:100% (50台所有) ②省IePC使用率:100% (70台所有)	<2030年に向けた指標> ①100%を維持 ②100%を維持 <3年後に向けた指標> ①100%を維持 ②100%を維持
社会	○災害用備蓄食料をフードバンク埼玉へ寄付 ○地域美化のためのボランティア活動 <(現状値)2023年の数値> ①食料の寄付:200食分/年 ②ボランティア活動:3回/年 ※当初宣言時の目標を達成済。	<2030年に向けた指標> ①200食分/年 ②3回/年 <3年後に向けた指標> ①200食分/年 ②3回/年
経済	○有給休暇取得率の向上 (工事部門) <(現状値)2023年の数値> 有給休暇平均取得日数:9.12日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <3年後に向けた指標> 10日/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月15日
住 所 埼玉県飯能市笠縫214
県内企業等の名称 株式会社青木精機
代表者役職氏名 代表取締役 青木 靖弘

株式会社青木精機 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社青木精機は、「地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、環境負荷の継続的減に努め、持続的に発展できる経済社会の実現に取り組み努力します」この経営理念のもと社員一同が理解し目標(SDGs)を掲げ達成に向けて事業活動に取り組み目標達成に向け活動していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	再生可能エネルギーの利用率向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> ・再生可能エネルギー利用率:4.5%	<2030年に向けた指標> 再生可能エネルギー利用率:8% <3年後に向けた指標> 再生可能エネルギー利用率:5.5%
社会	年次有給休暇を取りやすい環境を作る。 <(現状値)2023年の数値> ・年次有給休暇取得率:65%	<2030年に向けた指標> 年次有給休暇取得率:95% <3年後に向けた指標> 年次有給休暇取得率:75%
経済	温室効果ガスを削減させる為、水素技術を使った自動車等のインフラ整備用部品をメーカーへ供給する。 <(現状値)2023年の数値> ・売り上げ全体の1.5%を供給	<2030年に向けた指標> 売り上げ全体の8%を供給 <3年後に向けた指標> 売り上げ全体の2%を供給

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年3月5日
住 所 埼玉県加須市旗井1-50-4
県内企業等の名称 彩の国くりはし☆かぞベース『地域の魅力サポート応援団』
代表者役職 氏名 代表 相原 伸司

彩の国 くりはし☆かぞベース『地域の魅力サポート応援団』はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

一燈照隅☆萬燈遍照(Love & Peace !!)
私たちは、優しさと思いやりでさりげなく『世界を紡ぐ』ために、SDGsの啓発・推進サポート活動等を行います。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①事業所に関する緑化面積(5㎡)向上 ②その他 地域等の自然環境を守る エコキャップ回収(10,000個プラごみ再利用) <(現状値)2023年の数値> ①緑化面積向上:未実施 ②エコキャップ回収:1,000個/年(累計11,365個)	<2030年に向けた指標> ①5㎡ ②目標(10,000個)達成済 <3年後に向けた指標> ①3㎡ ②目標(累計3,000個)達成済
社会	①毎年、赤十字へ募金実施 ②加須市・蕨市小学校へ交通安全啓発品寄付 <(現状値)2023年の数値> ①募金額:10,000円/年 ②寄付数:300個/年	<2030年に向けた指標> ①10,000円/年(累計80,000円) ②300個/年(累計1,500個) <3年後に向けた指標> ①10,000円/年(累計30,000円) ②300個/年(累計900個)
経済	女性の役職者登用で割合を半分を目指す。 <(現状値)2023年の数値> 女性役職者:1名	<2030年に向けた指標> 女性役職者割合半数を維持 <3年後に向けた指標> 女性役職者1名 新規登用

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月17日

住 所 埼玉県上尾市井戸木2-2-1

県内企業等の名称 学校法人葵学園

代表者役職 氏名 理事長 新井 悦二

学校法人葵学園

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

葵学園では、持続可能な開発目標である「SDGs」の達成に向けて、学生、教職員が一丸となって取り組むとともに、医療及び福祉の従事者として高い技術と知識を備え、またその応用力を生かせる豊かな人間性をもった人材の育成を通して、社会貢献を続けてまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電気使用量の削減、及びエコロジーペーパーの利用率向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①電気使用量の削減:1%(1030kw)(対2022年度比) ※基準となる1年あたりの電気使用量:103,000kw/年(2022年度実績) ②エコロジーペーパー利用率:100%(65万枚/年)	<2030年に向けた指標> ①10% ②100%の維持 <3年後に向けた指標> ①3% ②100%の維持
社会	公開講座の開催や、健康福祉祭りに参加し、健康増進活動に貢献する。 <(現状値)2023年の数値> 年3回実施 参加者延べ人数108名/年	<2030年に向けた指標> 年5回実施 参加者延べ人数250名/年 <3年後に向けた指標> 年3回実施 参加者延べ人数150名/年
経済	健康寿命を延ばし、医療・介護保険費の抑制につながる医療従事者を輩出する。 <(現状値)2023年の数値> 医療従事者の排出:122名/年	<2030年に向けた指標> 150名/年 <3年後に向けた指標> 140名/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 15 日
住 所 埼玉県狭山市加佐志139-1
県内企業等の名称 社会福祉法人東雲会
代表者役職 氏名 理事長 星野 辰昭

社会福祉法人東雲会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

社会福祉法人東雲会は「地域の社会問題と真摯に向き合い解決していくことを目標」として、不断の自己改革への取り組みを通じて、持続可能な地域福祉・地域社会づくりに取り組んでいくとともに、事業や活動が与える多面的な影響にも配慮し、地球的視野に立ち、地域社会を構成する一員として、組織・事業・経営の革新をはかり、社会的役割を誠実に果たすことで、各々の置かれた環境を踏まえて、SDGsの達成に向けて、事業・活動に取り組んでいきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量及びコピー用紙の使用枚数の削減を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①電気使用量:47,481kwh/年 ②ガス使用量:908m ³ /年 ③コピー用紙使用量:37,681枚/年	<2030年に向けた指標> 2023年比 ①、②15%削減 ③30%削減 <3年後に向けた指標> 2023年比 ①、②7%削減 ③15%削減
社会	職員参加型・社会貢献活動の推進を図る。 <(現状値)2023年の数値> 小学生に向けた水耕栽培レタスの播種・収穫体験:0回/年	<2030年に向けた指標> 6回/年 <3年後に向けた指標> 2回/年
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①女性の管理職割合:33% ②高齢者の雇用比率:20%	<2030年に向けた指標> ①50% ②30% <3年後に向けた指標> ①40% ②23%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月31日
住 所 埼玉県大里郡寄居町桜沢1370-4
県内企業等の名称 セイコー運輸株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 清水 浩一

セイコー運輸株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

①地域の自然保護活動に参加し緑化及び小動物保護に努めます。②ゴミを収集したうえ20種以上に細かく分別、分類毎に中間処理専門業者へ排出し、資源の再利用に努めます。③同業他社とのネットワーク活用により効率的な配車及びモーダルシフトによる鉄道を活用しCO2を削減いたします。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	Co2削減(同業他社との全国ネットワークを有効活用し配車効率を向上させることによりCo2を削減する) <(現状値)2023年の数値> CO2排出量: 2400t	<2030年に向けた指標> 2023年比 15%削減(現在2400t-Co2を△400t-Co2) <3年後に向けた指標> 2023年比 10%削減(現在2400t-Co2を△200t-Co2)
社会	自然保護及び環境保全活動(地元寄居町で活動している「一年中さくらに出会える町よりい」というボランティア団体の活動拠点を社内施設を無償で提供し更に活動に参加し植樹している) <(現状値)2023年の数値> 桜の植樹: 145種、5000本/年	<2030年に向けた指標> 地元寄居町に桜を植樹(300種、1万本/年) <3年後に向けた指標> 地元寄居町に桜を植樹(150種、5千本/年)
経済	モーダルシフトの活用(遠方への配送は鉄道を利用しコスト削減及び労働時間短縮更にはCo2を削減する) <(現状値)2023年の数値> モーダルシフトの活用: 50台	<2030年に向けた指標> 2023年比 30%UP(現在50台を70台/年間) <3年後に向けた指標> 2023年比 15%UP(現在50台を60台/年間)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日

住 所 志木市上宗岡2-14-10(株)ニューイースト2階

県内企業等の名称 株式会社トレパル

代 表 者 氏 名 代表取締役社長 山口 将秀

株式会社トレパル

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「人の可能性を信じ相手の立場を想像し 想いやりと笑顔の絶えない 明るい社会の実現に取り組めます」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減 <(現状値)2023年の数値> ・月々の平均電気使用量:1,120kw/月	<2030年に向けた指標> エネルギー使用量の削減:10%(対2019年比)→1,008kw/月 <3年後に向けた指標> エネルギー使用量の削減:3%(対2019年比)→1,086kw/月
社会	社員参加型・社会貢献の推進 <(現状値)2023年の数値> ・街の美化活動:2回/年・のべ25人	<2030年に向けた指標> 街の美化活動4回/年・のべ40人 <3年後に向けた指標> 街の美化活動3回/年・のべ30人
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ・女性の管理職割合:20% ・高齢者の雇用比率:0%	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合:40% 高齢者の雇用比率:10% <3年後に向けた指標> 女性の管理職割合:30% 高齢者の雇用比率:3%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 3 月 5日
住 所 埼玉県さいたま市緑区上野田574-3
県内企業等の名称 株式会社 太陽商工
代表者役職氏名 代表取締役 三井 由美子

株式会社 太陽商工 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「人と社会に『安全と幸せ』を創り、輝くリーディング・カンパニーになる」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	資源の効率的利用を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①コピー用紙使用枚数:2019年度比 55%削減(2019年度 43万枚) ②社用車のハイブリット化又はEV化:15%(全社用車に対して)	<2030年に向けた指標> ①85%削減(2019年度比) ②25% <3年後に向けた指標> ①70%削減(2019年度比) ②20%
社会	安全な上下水道への整備する。 <(現状値)2023年の数値> ①災害トイレ啓発活動:2回 ②NGOウォーターエイドへの寄付:10万円	<2030年に向けた指標> ①10回 ②15万円 <3年後に向けた指標> ①4回 ②13万円
経済	安全な職場環境推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①人間ドック受診率:76% ②労働災害防止パトロール・勉強会10回	<2030年に向けた指標> ①100% ②14回 <3年後に向けた指標> ①90% ②12回

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-244-1

県内企業等の名称 毎日興業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 田部井 良

毎日興業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「社業をもって地域発展に貢献する」ことが創業者の精神であり事業の目的・使命です。これをベースにSDGsに準じて「未来永劫において住み続けられる街づくりの実現」に向けて当社の存在意義を重ね、企業活動を通じて目標達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社有車をHV、EV、PHVへの入替やエコドライブを実践し、CO2排出量を削減させる <(現状値)2023年の数値> CO2排出量:215.9 (t-CO2/年) (2022.9~2023.10)	<2030年に向けた指標> CO2排出量:204 (t-CO2/年) <3年後に向けた指標> CO2排出量:210 (t-CO2/年)
社会	国道及び県道の不具合を発見した場合に、管轄の整備事務所に通報して、早期復旧に結びつける(埼玉県ロードレポーター制度) <(現状値)2023年の数値> 道路不具合通報件数:累計2340件 (2021.4~2023.10)	<2030年に向けた指標> 道路不具合通報件数 累計5000件 <3年後に向けた指標> 道路不具合通報件数 累計4000件
経済	65歳以上の高齢者における労働災害の撲滅を推進する <(現状値)2023年の数値> 65歳以上の一人当たりの労働災害率: :0.52%(7人/1340人)	<2030年に向けた指標> 65歳以上の一人当たりの労働災害率 0% <3年後に向けた指標> 65歳以上の一人当たりの労働災害率 0.4%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 8日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-36-4
県内企業等の名称 株式会社テレビ埼玉
代表者役職 氏名 代表取締役社長 川原 泰博

株式会社テレビ埼玉 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

埼玉県域のテレビ局として、県民や県内事業者のSDGs参画への機運醸成を図る。
また、企業体としても人と環境にやさしく持続可能性の高い事業運営を目指し、地域貢献を図る。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	「彩の国埼玉環境大賞」を埼玉県らと共催し、県内個人、団体の環境保全活動を表彰し、その活動を促す。番組制作にあたっての台本等、印刷物のコピー発注枚数を極力少なくする。 <(現状値)2023年の数値> 用紙発注枚数:1,255,000枚/年 (基準値 2020年度 1,211,000枚/年)	<2030年に向けた指標> 2020年度比 15%削減 <3年後に向けた指標> 2020年度比 5%削減
社会	積極的にSDGsの事例や、県内における課題点などを取材、放送する。「テレ玉SDGsキャンペーン」のキャンペーン協賛金の一部をみどりの基金等、SDGs関連基金へ寄付する。 <(現状値)2023年の数値> 寄付金合計額:850,000円/年 (基準値 2020年度 40万円/年)	<2030年に向けた指標> 2020年度比 500%増 <3年後に向けた指標> 2020年度比 250%増
経済	「テレ玉SDGsキャンペーン」で県内企業が取り組む多種多様なSDGs活動を紹介するTVCMを放送し、SDGsに取り組む企業を増やす。 <(現状値)2023年の数値> キャンペーン賛同団体とのパートナーシップ:11社	<2030年に向けた指標> 30社以上 <3年後に向けた指標> 15社以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年3月7日

住 所 川口市栄町3丁目9番3号

県内企業等の名称 川口信用金庫

代 表 者 氏 名 理事長 木村 幹雄

川口信用金庫

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当金庫は、2030年のSDGs(持続可能な開発目標)達成に向け、金融サービスの提供を通じ活力あふれる地域社会を実現していくため、お客様よし、地域社会よし、金庫・職員よしの『三方良しの好循環経営』を実現いたします。併せて、地域に無くてはならない金融機関として、SDGs(持続可能な開発目標)を原動力とした地方創生、環境に優しい魅力的な街づくり、地域社会に貢献する活動を通し、社会的課題の解決と持続的成長の両立を目指す取組みを推進してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	省エネ・温暖化対策等に積極的に取り組みます。 <(現状値)2022年の数値> 本部・本店、支店の電力使用量について 2009年度を基準年度とし▲25.5% <2009年度電力使用量: 3,157,822KWH>	<2030年に向けた指標> 電力使用量、基準年度(2009年度)比28.0%(884,191KWH)の減少 <取組開始3年後に向けた指標> 電力使用量、基準年度(2009年度)比26.0%(821,033KWH)の減少
社会	各種機関との連携により、住み続けられるまちづくりに取組みます。 <(現状値)2022年の数値> 「彩の国みどりの基金」へ寄付:2百万円/年	<2030年に向けた指標> 「彩の国みどりの基金」へ寄付:毎年度2百万円 <取組開始3年後に向けた指標> 「彩の国みどりの基金」へ寄付:毎年度2百万円
経済	地域のお客様の課題解決に努めることで、地域産業の成長と明るい未来の創造に努めます。 <(現状値)2022年の数値> ①経営課題相談受付件数:1,136件(累計) ②課題解決件数:351件(累計)	<2030年に向けた指標> ①6,000件 ②1,500件 <取組開始3年後に向けた指標> ①1,800件 ②360件

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 3月 4日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区東町2丁目20番

県内企業等の名称 三井住友海上火災保険株式会社 埼玉支店

代表者役職 氏名 埼玉支店長 源長 哲司

三井住友海上火災保険株式会社 埼玉支店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」という当社グループの経営理念に基づき行動しSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	紙使用量削減とエネルギー総使用量削減によるCO2排出量削減 <(現状値)2022年の数値> 2009年度のCO2排出量 (112,360ト)に対して▲26.8%	<2030年に向けた指標> 2009年度のCO2排出量に対して▲50% <3年後に向けた指標> 2009年度のCO2排出量に対して▲30%
社会	森林や里山での生物多様性保全といった社会貢献活動の運営参加(県内) <(現状値)2022年の数値> 23人(1年当たり)	<2030年に向けた指標> 40人(1年当たり) <3年後に向けた指標> 30人(1年当たり)
経済	多様な働き方を推進する <(現状値)2022年の数値> 女性管理職割合:19.5% 男性育児休暇取得率:92.5%	<2030年に向けた指標> 女性管理職割合 30%、男性育児休暇取得率 100% <3年後に向けた指標> 女性管理職割合 20%、男性育児休暇取得率 95%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月19日
住 所 埼玉県東松山市松本町2-1-1
県内企業等の名称 伊田テクノス株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 檜崎 亘

伊田テクノス株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

伊田テクノスは、企業理念であるグループ憲章の中で”快適な環境づくりを通じて豊かな地域社会に貢献”することを誓っています。この考え方に基づき、持続可能な開発目標(SDGs)の達成のために、社員一人一人が事業活動に取り組むことにより、すべての人々が”幸福”に暮らせる社会の実現に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO ₂ 排出量を削減し、地球温暖化対策に貢献する。(電気・ガス・ガソリンの使用量削減) <(現状値)2023年の数値> CO ₂ 排出量:(年間)2.2895 t-CO ₂ /人 ※エコアップ認証制度数値(R4年度)	<2030年に向けた指標> CO ₂ 排出量の削減:(年間)2.2414 t-CO ₂ /人(2.1%減) <3年後に向けた指標> CO ₂ 排出量の削減:(年間)2.2688 t-CO ₂ /人(0.9%減)
社会	社会貢献活動(ロードサポートの参加)を継続実施し、地域の環境美化に貢献する。 <(現状値)2023年の数値> ロードサポート2回/年 のベ321人	<2030年に向けた指標> ロードサポート2回/年 のベ740人 <3年後に向けた指標> ロードサポート2回/年 のベ500人
経済	時間外労働時間と、毎週水曜日一斉退社の日を管理し、長時間労働の削減をする。 <(現状値)2023年の数値> 時間外労働時間:(月平均)19.0時間/人 (2022.7~2023.6)	<2030年に向けた指標> 時間外労働時間:(月平均)17.5時間/人(7%削減) <3年後に向けた指標> 時間外労働時間:(月平均)18.5時間/人(3%削減)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 24 日
住 所 埼玉県さいたま市北区宮原町1-687
県内企業等の名称 アヅミ産業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 佐久間 好広

アヅミ産業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の企業理念である「器美の追求」は食文化の多様性に日本美を融合させる食器の提案・製造・販売を一貫して行えるシステムを通じて、日本の食文化の存続発展に貢献していくというものです。この社会的価値も両立していくという考えは、SDGsの達成と目的を同じくするものです。また、環境配慮型商品の販売を通じて、SDGsの達成を目標とします。これら持続可能な経済活動を通じて、地球環境の保全及び社会的課題の実現に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境商品カタログ掲載の環境配慮型商品群の拡充 ＜(現状値)2023年の数値＞ 環境商品カタログ掲載アイテム数:214アイテム	＜2030年に向けた指標＞ 環境商品カタログ掲載アイテム数:417アイテム ＜3年後に向けた指標＞ 環境商品カタログ掲載アイテム数:285アイテム
社会	こども食堂への食器の寄付 ＜(現状値)2023年の数値＞ 剥がせる容器(リサイクル容器)の寄付: 4,000個/年	＜2030年に向けた指標＞ 120,000個/年 ＜3年後に向けた指標＞ 36,000個/年
経済	環境商品カタログ掲載の環境配慮型商品群の拡充 ＜(現状値)2023年の数値＞ 総売上高の環境商品の売上比率:4%	＜2030年に向けた指標＞ 環境商品の売上比率:11% ＜3年後に向けた指標＞ 環境商品の売上比率:7%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 3月 5日
住 所 埼玉県飯能市南川695-2
県内企業等の名称 特定非営利活動法人 プチバカンス
代表者役職 氏名 代表理事 佐々木 広明

特定非営利活動法人 プチバカンス はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人は「お出かけしましょう。」をテーマにイベント企画を実施し、また配食サービス事業では、食を通じ全ての人々に栄養摂取の重要性を伝えることを使命とし地域社会の発展に貢献していきます。飲食店では食品ロスゼロを目標に美味しい食事と適正な食事量の提供を実施することにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	3R(リサイクル、リデュース、リユース)の観点から経営する飲食店ではリサイクル原料を使用したプラスチック容器を使用していく。 <(現状値)2023年の数値> リサイクル容器使用率:50%	<2030年に向けた指標> お持ち帰りお弁当用器の100%をリサイクル容器に切替えます <3年後に向けた指標> 用途に合う素材容器を調査把握し70%を目標にリサイクル容器に切替えます
社会	「お出かけしましょう。」をテーマに高齢者障がい者、全ての方々が参加できるイベント企画を実施、実行していく。 <(現状値)2023年の数値> イベント実施(10名規模の介護予防講座:8回/年)(30人規模のイベント5回/年)	<2030年に向けた指標> 全国の方が参加できる50人規模のイベントを月1回実施 <3年後に向けた指標> 年に30回、10名規模の介護予防講座の開催 参加人数30人規模のイベント企画を年に6回実施
経済	1億総活躍社会を念頭に飲食店での高齢者の雇用を積極的に行っていく。 <(現状値)2023年の数値> 高齢者(70歳以上)の人材:3名※従業員の約60%	<2030年に向けた指標> 70歳以上の人材を10人(従業員の50%)採用し複数店舗展開をする <3年後に向けた指標> 70歳以上の人材を新たに3人採用する。現在3名在職※従業員の約60%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月15日
住 所 埼玉県熊谷市上根102
県内企業等の名称 田部井建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 田部井 俊一

田部井建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「未来へ快適な環境づくり」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2023年の数値> エネルギー使用量:60,445kwh	<2030年に向けた指標> 2023年比 15%削減 <3年後に向けた指標> 2023年比 5%削減
社会	社員参加型・社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①街の美化運動:6回/年 延べ128人 ②学生インターンシップ受入:4現場/年 8名 ※宣言当初の目標達成済。今後も2030年に向けた指標を毎年達成できるよう努める	<2030年に向けた指標> ①5回/年 延べ60人 ②5現場/年 10人 <3年後に向けた指標> ①3回/年 延べ40人 ②3現場/年 6人
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2024年の数値> ①男性社員の育児休暇取得率:0%(対象者なし) ②社員の有給休暇取得率:24.2%	<2030年に向けた指標> ①100% ②40% <3年後に向けた指標> ①80% ②30%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 22 日
住 所 埼玉県秩父市日野田町1-7-10
県内企業等の名称 秩父広域森林組合
代表者役職 氏名 代表理事組合長 吉田 廣文

秩父広域森林組合 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当組合の経営理念

- 健全な組合活動を通じ、人々の心が豊かになる社会づくりに貢献します。
- 地域の林業を活性化するため、安定的な地域材供給体制を目指します。
- 持続可能な環境づくりのため、地域森林管理の中核として森林整備を進めます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	スマート林業の推進 森林・山村多面的機能の発揮 <(現状値)2022年の数値> ①間伐の推進:166ha ②伐採跡地の植栽:26ha ※当初の3年後の指標は達成済。2030年の指標達成に努める	<2030年に向けた指標> ①間伐の推進:200ha ②伐採跡地の植栽:30ha <3年後に向けた指標> ①間伐の推進:170ha ②伐採跡地の植栽:26ha
社会	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①女性の雇用比率:33%(事務職員3名/9名) その他新たに技能職員女性1名採用 ※当初の3年後の指標は達成済。2030年の指標達成に努める ②高齢者(60歳以上)の雇用比率:21%(事務職員1名/9名、技能職員7名/33名)	<2030年に向けた指標> ①女性の雇用比率:40% ②高齢者の雇用比率:40% <3年後に向けた指標> ②女性の雇用比率:33% ②高齢者の雇用比率:30%
経済	花粉発生源対策の推進 木材需要の創出 <(現状値)2022年の数値> 素材生産量:12,800m ³ ※当初の3年後の指標は達成済。2030年の指標達成に努める	<2030年に向けた指標> 素材生産量:15,000m ³ <3年後に向けた指標> 素材生産量:12,800m ³

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 5日
住 所 埼玉県川越市鯨井1705-2
県内企業等の名称 初雁興業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 関根 勇治

初雁興業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、環境・品質の基本理念である『初雁興業株式会社は、人と自然、人と社会が共存する、きれいな地球環境を未来に引き継ぐ企業として「確かな品質、快適な暮らし、安心感」のある建設物を社会に提供するためにたゆまぬ技術の向上に努める』に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	業務車輛・通勤車両のCO2排出量削減を図る。 <(現状値)2023年の数値> CO2排出量の削減:(2009年(408t)より)29%削減(289t)	<2030年に向けた指標> 2009年比 50%削減(204t) <3年後に向けた指標> 2009年比 35%削減(265t)
社会	社会貢献活動「彩の国ロードサポート」「川の国応援団」の継続及び推進をする。 <(現状値)2023年の数値> ①彩の国ロードサポート:年4回・延べ45人 ②川の国応援団:年4回・延べ45人	<2030年に向けた指標> ①年5回・延べ70人 ②年5回・延べ70人 <3年後に向けた指標> ①年4回・延べ50人 ②年4回・延べ50人
経済	多様な働き方を推進し、再雇用率を向上させる。 (2019年定年年齢を65歳に延長。) <(現状値)2023年の数値> 再雇用率(65歳以上の雇用率):100%	<2030年に向けた指標> 再雇用率(65歳以上の雇用率):100%維持 <3年後に向けた指標> 再雇用率(65歳以上の雇用率):100%維持

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 15日
住 所 埼玉県狭山市富士見2-4-5
県内企業等の名称 狭山ケーブルテレビ株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 清水 信之

狭山ケーブルテレビ株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「多くのお客さまと繋がりを持ち、地域社会とともに企業・地域の活性化と持続的な発展に努め、地域のリーディングカンパニーとなる」という経営理念の下、SDGs達成に向けた様々な取組みを牽引し、従業員一人一人が高い理念と志を守りながらゆるぎない努力を継続することをここに宣言致します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	■こまめな切電やエアコンの適切な温度調整により、電気エネルギーの年間使用量を削減する。 <(現状値)2023年の数値> エネルギー使用量:48,432kwh/年(営業所) エネルギー使用量:268,198kwh/年(本社)	<2030年に向けた指標> エネルギー(電気)使用量の削減 ▲1.5% ※2023年比 <3年後に向けた指標> エネルギー(電気)使用量の削減 ▲1% ※2023年比
社会	■社員参加型社会貢献活動(地域清掃、緑化運動)を実施する。 <(現状値)2023年の数値> 社会貢献活動の実施:1回/年 のべ14人参加	<2030年に向けた指標> 2回/年 のべ40人参加(社員数) <3年後に向けた指標> 2回/年 のべ20人参加
経済	■多様な働き方を推進し、雇用の安定化を図る。 <(現状値)2023年の数値> ・女性管理職比率:26.6% ・60歳以上の雇用比率:5.1%	<2030年に向けた指標> 女性管理職比率:35% 60歳以上の雇用比率:20% <3年後に向けた指標> 女性管理職比率:30% 60歳以上の雇用比率:15%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月5日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区仲町3-12-6 5F
県内企業等の名称 ユナイテッド・インシュアランス株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 葭谷 広行

ユナイテッド・インシュアランス株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

経営理念であるユナイテッド・スタンダードに基づき、従業員、お客さま、そして広く地域全体が幸せとなる取り組みを実践いたします。SDGsは、経営理念と同趣旨であることから、役員、従業員が「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向けて努力します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化の推進 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙発注数:38箱 ※(基準値)2020年の数値 コピー用紙発注数:47箱	<2030年に向けた指標> 2023年比 コピー用紙の使用量10%減 <3年後に向けた指標> 2023年比 コピー用紙の使用量7%減
社会	埼玉県内の企業へ、事業継続力強化計画(BCP)の策定支援 <(現状値)2023年の数値> 支援社数:111社(宣言当初の目標達成済) ※(基準値)2020の数値 支援社数:26社	<2030年に向けた指標> 宣言当初の指標(支援社数100社)達成済 <3年後に向けた指標> 宣言当初の指標(支援社数100社)達成済
経済	企業の活性化のため、30歳未満の雇用を促進する <(現状値)2023年の数値> 30歳未満の人材採用状況:1名	<2030年に向けた指標> 2030年までに延べ8名採用 <3年後に向けた指標> 3年後までに延べ4名採用

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 8日

住 所 埼玉県さいたま市浦和区仲町2-4-1 浦和NEビル3F

県内企業等の名称 第一生命保険株式会社 浦和支社

代表者役職 氏名 支社長 田邊 新悟

第一生命保険株式会社 浦和支社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「お客さま第一」主義のもと、当支社のビジョン「地域のお客さまから選ばれ続けるカスタマーファーストの実現 QOL向上に貢献する浦和支社を皆で作ろう！」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	気候変動への対応をグループの重要課題の一つとして位置づけ、各種取組を推進。 <(現状値)2022年の数値> 第一生命グループとしてCO2排出量2万3,800t(対2019年約83%削減)	<2030年に向けた指標> スコープ1+2の排出量について2025年度までに50%削減、2040年度までにネットゼロ(2019年度比) <3年後に向けた指標> ネットゼロ目標に向けたCO2排出量のさらなる削減
社会	社会貢献活動の推進を目指し自治体および社会福祉協議会との協働。 <(現状値)2023年の数値> 協定締結3自治体 さいたま市・志木市との部分協定締結 戸田市との包括連携協定締結	<2030年に向けた指標> 協定締結自治体の拡大(浦和支社所管8自治体) <3年後に向けた指標> 協定締結4自治体
経済	女性活躍の推進を目指した正社員雇用の増大および指導者層への登用拡大。 <(現状値)2023年の数値> 女性生涯設計デザイナー数:360名 女性機関長・育成担当者:25名	<2030年に向けた指標> 女性生涯設計デザイナー数400名 女性機関長・育成担当者30名 <3年後に向けた指標> 女性生涯設計デザイナー数380名 女性機関長・育成担当者27名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月22日
住 所 埼玉県川越市脇田本町15-13 東上パールビル8F
県内企業等の名称 東上通運株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 鈴木 孝明

東上通運株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

社是である「誠意・熱意・創意」を基として、SDGsの目標達成を目指し社員一人ひとりがそのことを自覚し、事業活動を通じてそれぞれの役割を果たしていくことにより、各目標の達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO ₂ 排出量削減 <(現状値)2023年の数値> 910,123kg-CO ₂ ※45台▶環境配慮型先進トラックの導入検討 へ(HV/EV/CNG車推進)	<2030年に向けた指標> 10%以上削減 <3年後に向けた指標> 2%以上削減
社会	年次有給休暇取得日数をアップする <(現状値)2023年の数値> 年次有給休暇平均取得日数(23年12月時 点):5.68日	<2030年に向けた指標> 年次有給休暇平均取得日数:10日/年 以上 <3年後に向けた指標> 年次有給休暇平均取得日数:6日/年 以上
経済	女性活躍・ダイバーシティの推進 <(現状値)2023年の数値> 女性ドライバー・作業員:6名	<2030年に向けた指標> 10名以上の増員 <3年後に向けた指標> 毎年1名以上の増員

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 1日
住 所 埼玉県さいたま市南区鹿手袋4-1-7
県内企業等の名称 一般社団法人埼玉県電業協会
代 表 者 氏 名 会長 積田優

一般社団法人埼玉県電業協会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

県内各地域を代表する電気設備工事業者の集まりである当協会は、埼玉県行政とのつながりをもって発足し、県民の生活の安定と福祉の向上、そして電気設備産業の発展に寄与することを目的としています。現在、技術者不足・女性雇用のイメージ弊害・地震風水害対策等の社会問題、エネルギー・産業廃棄物の健全処理等環境問題など向き合わなければならない課題は、まさしくSDGs2020年を起点とした10年後への持続可能な開発目標を持つことが大切であると考えました。当協会では2020年1月に策定した取組を公表し、実現するために会員一同努めていく所存です。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	【県有電気設備の施工と保全、災害に打ち勝つ確かな品質】県が取り組むエネルギーの効率的な利活用に参画し環境保全に貢献します。災害時に使用する電力確保(太陽光発電と蓄電池設備の併用) <(現状値)2023年の数値> 正会員68社中33社が1件以上設置	<2030年に向けた指標> 正会員全社が5件設置 <3年後に向けた指標> 正会員全社が1件設置
社会	【半世紀の実績と先端技術、創造する未来の埼玉】資源の適切かつ有効な利用と高品質保守により、県民の安全と安心を守ります。 <(現状値)2023年の数値> ①共同購買事業における再生資源利用:75% ②会員企業産廃での3R:70%	<2030年に向けた指標> ①100% ②75% <3年後に向けた指標> ①90% ②75%
経済	【魅力あふれる電設業界、発展し続ける会員企業】女性のキャリアアップを図り、だれもが活躍できる業界を目指します。 <(現状値)2023年の数値> 技術者女性比率:5%(76名/1,376名 従業員数)	<2030年に向けた指標> 10% <3年後に向けた指標> 7%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月16日
住 所 埼玉県東松山市下野本1414
県内企業等の名称 株式会社豊島製作所
代表者役職 氏名 代表取締役 齊藤 次男

株式会社豊島製作所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「ものづくりで、お客様と社員と世の中にプラスをもたらす」という企業理念の下、SDGsの目標達成に直接貢献できる製品を開発し世界中に提供していくとともに地域社会の中でもその一員としての役割を果たしていく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 基準排出量4441tに対して19.6%削減	<2030年に向けた指標> 基準排出量4441tに対して20%以上削減 <3年後に向けた指標> 基準排出量4441tに対して20%削減
社会	地域に貢献する活動を行う。 <(現状値)2023年の数値> 近隣小学校社会科見学の受け入れ 1回	<2030年に向けた指標> 年1回以上の実施継続 <3年後に向けた指標> 年1回以上の実施
経済	最低賃金と社員給与支給総額を引き上げる。 <(現状値)2023年の数値> ①最低賃金:地域別最低賃金(時給)+60円 ②社員給与支給総額:9.4億円(直近決算時)	<2030年に向けた指標> ①地域別最低賃金(時給)+60円の維持 ②9.4億円以上の維持 <3年後に向けた指標> ①地域別最低賃金(時給)+60円の維持 ②9.4億円以上の維持

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月16日
住 所 埼玉県春日部市南1丁目6番9号
県内企業等の名称 金杉建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 吉川 祐介

金杉建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念「技術革新より、地域インフラを構築・維持し、地域社会の発展に貢献する」の体現に尽力する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが主体的に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	二酸化炭素排出量の削減及び環境保全の取組を実施する。 <(現状値)2023年の数値> ①社用車1台あたりの二酸化炭素排出量削減率(t-CO2/台):1.0% ②コピー用紙廃棄量(t)削減率:3%	<2030年に向けた指標> ①5% ②10% <3年後に向けた指標> ①3% ②6%
社会	多様な働き方を推進を行う。 <(現状値)2023年の数値> 女性雇用率:10%(女性7人/全社員70名)	<2030年に向けた指標> 女性雇用率:20% <3年後に向けた指標> 女性雇用率:15%
経済	技術革新による、働き方の変革を行う。 <(現状値)2024年の数値> ICT建機使用率:20%(10人/使用人数50人)	<2030年に向けた指標> ICT建機使用率:50% <3年後に向けた指標> ICT建機使用率:30%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月27日
住 所 埼玉県戸田市中町2-1-21
県内企業等の名称 株式会社SPコンシェルジュ
代表者役職氏名 代表取締役 前田 高広

株式会社SPコンシェルジュ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

・社内の選抜メンバーによる「SDGsプロジェクト」の立上げ。
・「SDGsプロジェクト」作成の活動指針を基本に、広告代理業である自社事業を通じて、クライアント、取引先、自社社員とともに、地域および地球の社会的課題の解決に取り組み、推進する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	営業車両のHV車、EV車などのエコカーへの移行、社内照明のLED化 <(現状値)2023年の数値> ・エコカー保有比率:3台/10台(30.0%) ・社内LED照明比率:0%	<2030年に向けた指標> エコカー保有率100% 社内LED比率100% <3年後に向けた指標> エコカー保有率50% 社内LED比率50%
社会	自社クライアントおよび埼玉県SDGsパートナー企業のSDGsのPR活動のサポート(ホームページ作成、パンフレット作成、ノベルティなど) 世界の子どもたちに向け、ワクチン寄付のため、ペットボトルキャップ収集 <(現状値)2023年の数値> ・SDGs関連広告サポート:4社 ・ペットボトルキャップ収集:10kg	<2030年に向けた指標> SDGs広告関連サポート:50社 ペットボトルキャップ収集15kg <3年後に向けた指標> SDGs広告関連サポート:30社 ペットボトルキャップ収集10kg
経済	多様な働き方を推進する <(現状値)2023年の数値> ・女性の管理職割合:2名/30名(6.6%) ・高齢者の雇用比率:1名/30名(3.3%)	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合:30% 高齢者の雇用比率20% <3年後に向けた指標> 女性の管理職割合:20% 高齢者の雇用比率10%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月29日

住 所 埼玉県ふじみ野市上福岡5-5-17 3F

県内企業等の名称 レジアスインパクト株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 横山 健一郎

レジアスインパクト株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「社会」「お客さま」「社員」それぞれに焦点を当てた3つの経営理念の実践を心がけており、それは持続可能な開発目標(SDGs)のゴール達成と方向性を同じくしている。SDGsを理解し、その達成に取り組む地域の核代理店として、環境、社会、経済の発展を牽引していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量の削減 <(現状値)2023年度の数値> ・社有車:全車両台数 22台に対して ハイブリット車:32% エコカー:18% ガソリン車:50% 電気自動車:0%	<2030年に向けた指標> 電気自動車(非ガソリン車含む):75% <3年後に向けた指標> 社有車:全車両の比率の目標指標 ハイブリット車+エコカー+電気自動車:75% ガソリン車:25%
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進および 運営参加 <(現状値)2023年度の数値> ・防災・減災啓発活動:6回/年・延べ86人	<2030年に向けた指標> 防災・減災啓発活動:10回/年・延べ500人 <3年後に向けた指標> 防災・減災啓発活動:3回/年・延べ100人
経済	不慮の事態に対する早期復興、復旧に向 け、経済的な備えを提案 <(現状値)2023年度の数値> ・地震保険付帯率:76.9%	<2030年に向けた指標> 地震保険付帯率:90% <3年後に向けた指標> 地震保険付帯率:80%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月23日
住 所 埼玉県東松山市東平1753-1
県内企業等の名称 一般社団法人社会福祉相談センター
代表者役職 氏名 代表理事 西川 敏行

一般社団法人社会福祉相談センター はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊法人の経営理念である「社会援助を必要とする障害者と仕事を必要とする就労者に障害事業を通じ相互扶助の仕組みを創造する」に基づき行動し、地域社会の展開に包括的に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を示すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	空き家住宅を修繕し長期利用可能にする取組を行い、グループホームで再利用。 <(現状値)2023年の数値> 年間3軒	<2030年に向けた指標> 年間5軒 障害者20名の住まいとしての受け皿 <3年後に向けた指標> 年間4軒 障害者16名の住まいとしての受け皿
社会	地域高齢者の活躍の場を障害者施設のレクリエーション活動にて設け、障害者にも地域住人との触れ合いの場を作る取組。 <(現状値)2023年の数値> 年間0件	<2030年に向けた指標> 年間5件:高齢者2名に対し障害者8名のコミュニティづくり <3年後に向けた指標> 年間2件:高齢者1名に対し障害者4名のコミュニティづくり
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①高齢者の雇用比率:50% ②生活困窮農家に対して就労支援として企業提携:現在声かけのみ	<2030年に向けた指標> ①60% ②農家企業提携年間2社、地域高齢者交流5人 <3年後に向けた指標> ①55% ②農家企業提携年間1社、地域高齢者交流2人

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 20日
住 所 埼玉県八潮市西袋621-5
県内企業等の名称 東武環境センター株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 中脇 周一

東武環境センター株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

木材資源リサイクル事業の発展を通じて、資源循環型社会の形成に寄与し、環境負荷の一層の低減を図ることが、持続可能な(SDGs)の達成の貢献となる。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、木くずリサイクル率100%を維持する。 <(現状値)2023年の数値> 木くずリサイクル率:100%	<2030年に向けた指標> 木くずリサイクル率:100%の維持 <3年後に向けた指標> 木くずリサイクル率:100%の維持
社会	防災事業への支援として、関係事業への寄附を行う。 <(現状値)2023年の数値> 防災事業へ寄附:10,000千円	<2030年に向けた指標> 寄付年間金額:10,000千円以上 <3年後に向けた指標> 寄付年間金額:10,000千円以上
経済	CO2排出量低減に寄与する為、木質燃料チップの安定供給を行う <(現状値)2023年の数値> 木質燃料チップ供給量:年間51千t	<2030年に向けた指標> 木質燃料チップ供給量:年間55千t <3年後に向けた指標> 木質燃料チップ供給量:年間52千t

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 29日
住 所 埼玉県上尾市寺丁目西1番地9
県内企業等の名称 イシグロ株式会社
代表者役職 氏名 埼玉支店長 高野 英樹

イシグロ株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たちイシグログループでは、配管資機材商社として早くから環境問題や従業員の働きがいや平等性に着目し、あらゆる角度から積極的な改革を実施しております。
また、健康企業宣言を行い「健康企業経営」を推進していることからSDGsの達成を目標の一つとして取り組んでおります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、営業車のハイブリット化を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮型車両:3台/営業車両10台 (電気自動車1台、ハイブリッド車2台)	<2030年に向けた指標> 営業車を100%電気自動車へ入替実現 <3年後に向けた指標> 営業車を6台ハイブリット車採用実現
社会	国際貢献のため、海外実習生の育成を行う。 <(現状値)2023年の数値> ミャンマーから海外実習生を9名受入れ、3年間日本の物流を通して商品の知識、文化を知り得る。母国での就業の有益な手助けとなりたい。継続して新たな実習生を受入育成する。	<2030年に向けた指標> 実習生の継続受入れ(10名程度) <3年後に向けた指標> 実習生の継続受入れ(10名程度)
経済	働きがいを創出し社員満足度の向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> 2023年3月「健康経営優良法人」認定。 健康企業経営を推進し、仕事と私生活のバランスが取れた働きがいがある企業を目指す。 現在の「仕事と私生活のバランスがとれている」社員満足度62%(2023年社内調査)	<2030年に向けた指標> 健康企業経営の実現、 「仕事と私生活のバランスがとれている」社員満足度70% <3年後に向けた指標> 健康経営優良法人の継続認定、 「仕事と私生活のバランスがとれている」社員満足度65%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月3日
住 所 埼玉県川口市幸町1-9-17
県内企業等の名称 和光紙器株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 本橋 志郎

和光紙器株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たち和光紙器の方針は経営理念にあり、経営理念の中に4つの使命がございます。4つの使命とSDGs目標達成に向けての三側面「環境」「社会」「経済」が同じ方向を目指すものであり、力強く企業活動を進める事が出来ます。そして「働きがいのある会社に向けて経営取組み」「必要とされる商品開発」「和光紙器ならではのものづくり」の活動との掛け合わせによる相乗効果がより活動を活性化させていきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減、資源保全 <(現状値)2023年の数値> 環境に配慮した包装設計の提案:7件/年 LED化率:91%	<2030年に向けた指標> 環境に配慮した包装設計の提案:20件/年、LED化率:100% <3年後に向けた指標> 環境に配慮した包装設計の提案:8件/年、LED化率:100%
社会	社会貢献活動の推進・地域への配慮 <(現状値)2023年の数値> 地域貢献活動への参画:7回/年 社会課題を解決する商品の開発:のべ3件	<2030年に向けた指標> 地域貢献活動への参画:10回/年、社会課題を解決する商品の開発:のべ8件 <3年後に向けた指標> 地域貢献活動への参画:8回/年、社会課題を解決する商品の開発:のべ5件
経済	働きがいへの貢献 <(現状値)2023年の数値> 時間外労働時間の削減:月平均806時間 ※一人あたり月平均10時間5分 勉強会を開催し能力開発を推進:1人あたり4回/年	<2030年に向けた指標> 時間外労働時間の削減:10%、勉強会を開催し能力開発を推進:1人あたり6回/年 <3年後に向けた指標> 時間外労働時間の削減:3%、勉強会を開催し能力開発を推進:1人あたり5回/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月17日
住 所 埼玉県蕨市中央1-10-2
県内企業等の名称 株式会社 高砂建設
代表者役職 氏名 代表取締役社長 風間 健

株式会社 高砂建設 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「まじめで誠実な企業活動に励み、建築を通じて広く社会に貢献し、お客様はもとより地域の皆さまから愛され頼りにされる企業を目指す。」に基づき、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	●埼玉県産の木材を使った住宅の普及を通じCo2の固定化を促進する。 ●商用車を環境配慮型とする <(現状値)2023年の数値> ①Co2固定化貢献:約700トン 相当 ②環境配慮型商用車とする 4%・2台(48台中)	<2030年に向けた指標> ①1,125トン相当 ②10台・20% <取組開始3年後に向けた指標> ①930トン相当 ②5台・10%
社会	●多様な働き方を推進する。 ●川口モデルを一般開放することでワークショップや料理教室などを通じた地域貢献 <(現状値)2023年の数値> ①女性の管理職割合:10% ②高齢者の雇用比率:10% ③ワークショップ:月2回実施	<2030年に向けた指標> ①30% ②20% ③月8回実施 <取組開始3年後に向けた指標> ①15% ②10% ③月4回実施
経済	●再生エネルギーを利用したLCCM住宅(ZEH住宅/Neary ZEH)の性能を有し、LCCM基準に即した住宅の割合を増やす ●省エネ性能の高いグリーン住宅の普及 <(現状値)2023年の数値> ①LCCM:新築住宅の68% ②グリーン化住宅(新築):75棟	<2030年に向けた指標> ①新築住宅の68%維持 ②120棟 <取組開始3年後に向けた指標> ①新築住宅の68%維持 ②100棟

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 19日

住 所 埼玉県川越市新宿町6-26-4 ヴィラ・葦羅夢201

県内企業等の名称 佐々木清明税理士事務所

代表者役職 氏名 所長 佐々木 清明

佐々木清明税理士事務所

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当事務所は経営理念『「花」よりも「花」を咲かせる「土」であれ』に基づき、地域社会の発展・活性化に貢献することを最も重要な経営方針として積極的に活動しています。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献したい。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動で利用する資源使用量の削減のため、従来紙ベースで保存していた書類をデータ保存に変更していく等ペーパーレス化の取組を拡大していく。 <(現状値)2023年の数値> ・業務のペーパーレス化に向けての取組:0件(未取組)	<2030年に向けた指標> ペーパーレス化に向けて新たな取組み5件(累計) <3年後に向けた指標> ペーパーレス化に向けて新たな取組み年1件
社会	税理士として社会貢献のため、HPに税務関係の記事を書くことで事業者の力となる。 <(現状値)2023年の数値> ・HP税務関係記事記載回数:年0件	<2030年に向けた指標> HP税務関係記事記載回数:年2件 <3年後に向けた指標> HP税務関係記事記載回数:年1件
経済	クラウド会計・業務効率化の推進のための研修時間の確保。 <(現状値)2023年の数値> ・1人あたりのIT研修時間:平均2時間/年	<2030年に向けた指標> 1人あたりのIT研修時間 平均8時間/年 <3年後に向けた指標> 1人あたりのIT研修時間 平均5時間/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 29日
住 所 埼玉県所沢市南永井37番地9号
県内企業等の名称 株式会社タカヤマ
代表者役職氏名 代表取締役 齊藤 康祐

株式会社 タカヤマ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社タカヤマは環境貢献企業として持続可能な世界の実現に向け国連が定めた、2030年までの国際的な目標であるSDGsに対して、その理念に共感し、企業理念のもと事業活動と社会貢献活動を通じて、持続可能な発展に貢献する取り組みを行う。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	工場のCO2排出量(処理受託量当たり)の削減 全社車両燃費使用量の低減 <(現状値)2023年の数値> ①工場CO2排出量:4,658t ②全社車両燃費:10.4km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①工場CO2排出 2,500t ②全社車両燃費 15.0km/ℓ <3年後に向けた指標> ①工場CO2排出 3,500t ②全社車両燃費 12.0km/ℓ
社会	間伐活動の実施 ロードサポートの実施 <(現状値)2023年の数値> ①間伐活動:年1回・19名 ②ロードサポート:年6回・142名	<2030年に向けた指標> ①間伐活動 年2回・40名 ②ロードサポート 年6回・155名 <3年後に向けた指標> ①間伐活動 年1回・25名 ②ロードサポート 年6回・142名
経済	労働災害件数削減 <(現状値)2023年の数値> 労働災害件数:5件/年	<2030年に向けた指標> 労働災害件数 0件/年 <3年後に向けた指標> 労働災害件数 0件/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月31日

住 所 埼玉県春日部市一ノ割三丁目15番46号

県内企業等の名称 株式会社市上建設

代表者役職 氏名 代表取締役 青木 康広

株式会社市上建設

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、道路・舗装・下水・造成工事等を通じて、安全・品質を確保可能な場合は、可能な限り廃棄物を再生した材料を用いて施工することで、CO2や廃棄物の削減に取り組み、環境に配慮した施工を心がけております。また、このような機会を頂き、ボランティアなども通じ、地域社会の発展に貢献します。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、全社員一丸となって、下記指標の達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減、及びエコマークの文房具への適宜切替を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①エネルギー使用率の削減:2.5% 現在の使用量:144.81kw/m ² ※基準値(2020年):148.54kw/m ² ②エコマークの文具の使用率:15%	<2030年に向けた指標> ①3%削減(2020年比) ②36% <3年後に向けた指標> ①2.5%削減(2020年比) ②15%
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進 <(現状値)2023年の数値> ・街の美化活動:3回/年・のべ26人	<2030年に向けた指標> 街の美化活動:4回/年・のべ40人 <3年後に向けた指標> 街の美化活動:3回/年・のべ26人
経済	名刺や包装紙などの紙製品をバナナペーパーの紙に切り替える。 <(現状値)2023年の数値> ・バナナペーパー使用率:12%	<2030年に向けた指標> バナナペーパー使用率:24% <3年後に向けた指標> バナナペーパー使用率:12%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月31日
住 所 埼玉県越谷市向畑528番地4
県内企業等の名称 株式会社 沖田土木
代表者役職 氏名 代表取締役 青木 康広
(令和6年4月2日変更)

株式会社 沖田土木 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、道路・舗装・下水・造成工事等を通じて、安全・品質を確保可能な場合は、可能な限り廃棄物を再生した材料を用いて施工することで、CO2や廃棄物の削減に取り組み、環境に配慮した施工を心がけております。また、このような機会を頂き、ボランティアなども通じ、地域社会の発展に貢献します。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、全社員一丸となって、下記指標の達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減、及びエコマークの文房具への適宜切替を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①エネルギー使用率の削減:2% 現在の使用量:132.55kw/m ² ※基準値(2020年):135.26kw/m ² ②エコマークの文具の使用率:18%	<2030年に向けた指標> ①4.5%削減(2020年比) ②40% <3年後に向けた指標> ①2%削減(2020年比) ②18%
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進、及びペットボトル寄付の推進 <(現状値)2023年の数値> ・街の美化活動:3回/年・のべ35人	<2030年に向けた指標> 街の美化活動:3回/年・のべ35人 <3年後に向けた指標> 街の美化活動:3回/年・のべ35人
経済	名刺や包装紙などの紙製品をバナナペーパーの紙に切り替える。 <(現状値)2023年の数値> ・バナナペーパー使用率:13%	<2030年に向けた指標> バナナペーパー使用率:30% <3年後に向けた指標> バナナペーパー使用率:13%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月31日

住 所 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番15号

県内企業等の名称 株式会社 OKITA

代表者役職 氏名 代表取締役 岡田 昇

(令和6年4月2日変更)

株式会社 OKITA

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、道路・舗装・下水・造成工事等を通じて、安全・品質を確保可能な場合は、可能な限り廃棄物を再生した材料を用いて施工することで、CO2や廃棄物の削減に取り組み、環境に配慮した施工を心がけております。また、このような機会を頂き、ボランティアなども通じ、地域社会の発展に貢献します。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、全社員一丸となって、下記指標の達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減、及びエコマークの文房具への適宜切替を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①エネルギー使用率の削減:1% 現在の使用量:41.30kw/m ² ※基準値(2020年):41.73kw/m ² ②エコマークの文具の使用率:25%	<2030年に向けた指標> ①1.5%削減(2020年比) ②30% <3年後に向けた指標> ①1%削減(2020年比) ②25%
社会	児童養護施設子供の町への寄付の推進 <(現状値)2023年の数値> ・児童養護施設子供の町への寄付金: 30,000円/年	<2030年に向けた指標> 児童養護施設子供の町への寄付金:100,000円/年 <3年後に向けた指標> 児童養護施設子供の町への寄付金:30,000円/年
経済	名刺や包装紙などの紙製品をバナナペーパーの紙に切り替える。 <(現状値)2023年の数値> ・バナナペーパー使用率:28%	<2030年に向けた指標> バナナペーパー使用率:45% <3年後に向けた指標> バナナペーパー使用率:28%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月31日
住 所 埼玉県行田市桜町1-5-16
県内企業等の名称 小川工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 小川 貢三郎

小川工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、私たちの力を積極的に役立てていくことが求められています。小川工業株式会社は「優れた技術と創造力により、豊かな社会の実現に貢献します」という経営理念のもと、建設会社として、地域の守り手として、豊かな地域社会の実現のために取り組んでいます。SDGsが示す課題の解決を考えることをきっかけとして、お客様をはじめ、従業員、協力会社の皆様、地域の皆様など、沢山の関係者の方々とのパートナーシップを通じて、社会からの期待と要請に応え、持続的な成長に貢献できる建設会社を目指します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境に配慮した企業活動を推進し、顧客及び社会から信頼と高い評価を得られる高品質の建造物とサービスを提供する。 <(現状値)2022年の数値> 二酸化炭素排出量:518.3t	<2030年に向けた指標> 二酸化酸素排出量:10%削減 <3年後に向けた指標> 二酸化酸素排出量:3%削減
社会	「働き方改革」に積極的に取り組むことで、従業員が働きやすい制度・環境をつくり、埼玉県内の建設業界におけるモデルとなる。 <(現状値)2022年の数値> 4週8休制の実施 社内育児休暇制度取得率85.7%(対象者6名/7名)	<2030年に向けた指標> 週休2日制の実施90%以上、社内育児休暇制度取得率100% <3年後に向けた指標> 週休2日制の導入、社内育児休暇制度取得率90%以上
経済	先端技術を施工現場で積極活用することで建設現場における生産性を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 先端技術(ICT、BIM、CIM、ドローンなど)の活用率56.8%(対象現場:25/44)	<2030年に向けた指標> 施工現場における先端技術の活用率100% <3年後に向けた指標> 施工現場における先端技術の活用率80%以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 7日
住 所 埼玉県東松山市新郷576-1
県内企業等の名称 野口精機株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 國分 寿史

野口精機株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「協調と協力の精神」に基づき、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが主役
となって堅実に、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化の推進 <(現状値)2023年の数値> ①コピー用紙購入量削減:365,000枚/年 ②書類排出量(シュレッダー含む)削減: 1,116kg	<2030年に向けた指標> ①▲30%(255,500枚) ②▲30%(781kg) <3年後に向けた指標> ①▲21%(290,000枚) ②▲21%(881kg)
社会	社員参加型社会貢献活動への取組推進 <(現状値)2023年の数値> ①街の美化活動:3回/年 22.2%(のべ 46名)参加 ②募金等による寄付:287,031円/年	<2030年に向けた指標> ①3回/年 50%参加 ②寄付等40万円以上/年 <3年後に向けた指標> ①3回/年 30%参加 ②寄付等33万円以上/年
経済	多様な働き方の推進 <(現状値)2023年の数値> ①障害者の雇用率:2.1% ②女性の管理職割合:10.7%	<2030年に向けた指標> ①障害者雇用率:3.0% ②女性管理職:22% <3年後に向けた指標> ①障害者雇用率:2.6% ②女性管理職:15%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月16日
住 所 埼玉県鴻巣市氷川町53-16
県内企業等の名称 特定非営利活動法人健康支援ネットSAILINGLIFE
代表者役職 氏名 理事 小澤 琢也

特定非営利活動法人健康支援ネットSAILINGLIFE はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

地域住人に対して、健康情報を講座を通して配信していく。また健康に必要な体づくりを体操教室を通して伝えていく。さらに、訪問看護、訪問リハビリを通じて、病気やケガがあっても自宅で生活できるように支援していく。この様に医療や福祉に力を入れ、人々の健康を支えていくことでSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	現在訪問看護に2台の自動車を使っている。CO2削減のため、当該自動車を1台として、自転車の利用を推奨していく。 <(現状値)2023年の数値> ①自動車保有台数:1台 ②自転車保有台数:18台 ※令和3年宣言時の目標を一部達成済	<2030年に向けた指標> ①1台 ②20台 <3年後に向けた指標> ①1台 ②18台
社会	地域住民に対して健康セミナーの開催や健康体操の実施・訪問看護運営を行うことで地域貢献を行う。 <(現状値)2023年の数値> ①健康セミナー開催:1回/年 ②健康体操の参加人数:延べ30名	<2030年に向けた指標> ①10回以上/年 ②延べ300名以上 <3年後に向けた指標> ①5回以上/年 ②延べ250名以上
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 女性雇用率:60% ※令和3年宣言時の目標を達成済のため、現状維持に努める。	<2030年に向けた指標> 女性雇用率60%、変形労働時間制の積極的運用 <3年後に向けた指標> 女性雇用率60%、変形労働時間制導入

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月24日
住 所 埼玉県蓮田市椿山3丁目17番5号
県内企業等の名称 特定非営利活動法人マインドフルネス総合研究所
代表者役職 氏名 理事長 大田 健次郎

特定非営利活動法人マインドフルネス総合研究所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

うつ病、不安症、心的外傷後ストレス障害(PTSD)、過食症などが治らず、ひきこもり、自殺などに追い込まれている人の支援の活動をする。代表が25年ほどの活動を通して開発したマインドフルネス心理療法を用いて、うつ病などになる仕組み、改善する仕組み、具体的な改善方法について、講演し、実技指導をして、引きこもりからの解決、自殺の防止に貢献する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	使用する用紙の使用量の削減を通して印刷製本費の削減に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 年間印刷製本費:1,555円 (2020年:1,816円)	<2030年に向けた指標> 年間の印刷製本費 2020年比 50%カット <3年後に向けた指標> 年間の印刷製本費 2020年比 20%カット
社会	一般の人、企業、学校、NPOなどに、うつ病の発症の仕組み、改善法、自殺を予防するための方策について講演を行う。 <(現状値)2023年の数値> 講演の実施:3回/年	<2030年に向けた指標> 講演の実施:24回/年 <3年後に向けた指標> 講演の実施:12回/年
経済	企業、NPO、教育機関、病院などとマインドフルネス心理療法を活用したうつ病、自殺予防の共同事業を行うことにより、県民の福祉の向上に貢献する。 <(現状値)2023年の数値> 共同事業の実施:2023年は実績なし	<2030年に向けた指標> 通算7団体と行う <3年後に向けた指標> 毎年1団体と行い通算3団体と行う

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月23日
住 所 埼玉県入間市上藤沢625-3
県内企業等の名称 バクトル株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 高橋 毅光

バクトル株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

環境分野のSDGsゴールの達成に取り組むことをまず宣言して継続、改善を行い、環境配慮を徹底して三側面で掲げた指標に向かい、バランスの取れたより良い世界を目指す。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	廃棄物排出量を減らす <(現状値)2023年の数値> 現状:可燃ごみ 220kg(年間) 不燃ごみ 70kg(年間)	<2030年に向けた指標> 10%カット <3年後に向けた指標> 5%カット
社会	技能実習生など、外国人の雇用を増やす <(現状値)2023年の数値> 現状:5名	<2030年に向けた指標> 6名増員(累計) <3年後に向けた指標> 3名増員(累計)
経済	埼玉県西部地区発展のため、建設業に関 わる地域の事業者との取引を増やす <(現状値)2023年の数値> 現状:10社	<2030年に向けた指標> 15社(累計) <3年後に向けた指標> 12社(累計)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月23日
住 所 埼玉県草加市柿木町1097番地の4
県内企業等の名称 マルタケ運輸株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 武田 功

マルタケ運輸株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「全従業員の幸福を追求するとともに、社会の発展に貢献すること」という経営理念に基づいて活動している。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に寄与していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコドライブ周知徹底、エコドライブ講習受講、エコタイヤ導入等により、燃料使用量の削減に努める。 <(現状値)2023年の数値> ・トラック1台当たりの燃費 5.79km/l	<2030年に向けた指標> トラック1台当たりの燃費 6.00km/l <3年後に向けた指標> トラック1台当たりの燃費 6.00km/l
社会	社会参加型社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ・街の美化運動 246回/年 延べ492人	<2030年に向けた指標> 街の美化運動 250回/年 延べ750人 <3年後に向けた指標> 街の美化運動 250回/年 延べ750人
経済	高齢者再雇用制度を就業規則に定める。 <(現状値)2023年の数値> ・高齢者雇用比率 16.5%	<2030年に向けた指標> 高齢者雇用比率 20.0% <3年後に向けた指標> 高齢者雇用比率 18.0%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県本庄市中央2-6-20
県内企業等の名称 八木建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 八木 雅之

八木建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たちは暮らしにかかわる事業を通じ、社会の課題解決に向けて取り組み
2030年、当社経営理念にある「感動の循環による幸福の実現」を目指します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	非住宅における木造推進で脱炭素化社会に貢献する。 <(現状値)2023年の数値> 木造建築による年間炭素貯留量 :605t-CO2	<2030年に向けた指標> 木造建築による年間炭素貯留量700t-CO2 <3年後に向けた指標> 木造建築による年間炭素貯留量650t-CO2
社会	社員参加型の社会貢献活動と寄付を行う。 <(現状値)2023年の数値> ①年4回のロードサポート活動への社員参加:62% ②地域のお祭りで、廃材を利用した木のバッジづくり (無料)の出展:提供したバッジの個数:250個 ③能登半島地震への義援金やその他3事業への寄付 金額:合計105万5,000円(累計)	<2030年に向けた指標> ①100% ②300個 ③社会活動への寄付金額目標120万円(累計) <3年後に向けた指標> ①70% ②280個 ③社会活動への寄付金額目標110万円(累計)
経済	環境と道路インフラ負担軽減に配慮し、雨水処理を地下浸透方式の導入を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 地下浸透可能地域内の新築の42.8%を 雨水地下浸透方式で宅内処理実施	<2030年に向けた指標> 地下浸透可能地域内での新築100%地下浸透処理を達成し、 道路排水接続ゼロを目指す <3年後に向けた指標> 地下浸透可能地域内での新築の50%地下浸透処理を達成する

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 25日
住 所 埼玉県本庄市西富田303-1
県内企業等の名称 竹並建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 竹並 達也

竹並建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「全社員が幸せになることで、お客様の心を満たす最上級のサービスを提供し、持続的な成長型社会貢献企業となる」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電気使用量/人 の削減 ガソリン使用量/人 の削減 ゴミ排出量/人 の削減 <(現状値)2023年の数値> 電気使用量:1,050KWh/人 ガソリン使用量:0.5Kℓ/人 ゴミ排出量:35Kg/人	<2030年に向けた指標> 電気・ガソリン・ゴミ ▲3%/人 <3年後に向けた指標> 電気・ガソリン・ゴミ ▲1%/人
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進 <(現状値)2023年の数値> 街の美化活動:12回/年 各回30人 川の美化活動: 3回/年 各回30人	<2030年に向けた指標> 街の美化活動:12回/年 各回40人 川の美化活動:3回/年 各回40人 <3年後に向けた指標> 街の美化活動:12回/年 各回35人 川の美化活動:3回/年 各回35人
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 多様な働き方実践企業 プラチナ認定取得 (8つの認定基準に該当)	<2030年に向けた指標> 9つの認定基準を継続して上回る <3年後に向けた指標> 9つの認定基準に該当(プラチナ認定)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月22日
住 所 埼玉県入間市豊岡三丁目7番3号
県内企業等の名称 一般社団法人全国住宅火災防止協会
代 表 者 氏 名 代表理事 渡辺 英利

一般社団法人全国住宅火災防止協会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「尊い命と財産を火災から守る！」ことを使命に、木部の難燃処理施工を主事業として発足した一般社団法人です。現在は、窓用遮熱コーティング(赤外線・紫外線の制御)、抗菌・消臭・ウイルス対策剤、水の浸透を防ぐ防水・撥水剤、抗菌・抗カビ塗装等施工を行っています。また特殊コーティングを施工するにあたり洗剤や薬剤等を一切使わない、高圧でも高温でもない洗浄、加圧超高温水洗浄があります。施工で培った技術と全国に会員を持つネットワークの広さで「情熱・熱意」のトレードマークのもと持続可能な発展に貢献する取組みを進めています。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	窓用遮熱コーティング工事。 窓から入る赤外線を効果的に遮蔽し冷暖房効率を改善する。 <(現状値)2023年の数値> 窓用遮熱コーティング工事:のべ4,100㎡施工	<2030年に向けた指標> のべ120,000㎡施工 <3年後に向けた指標> のべ12,000㎡施工
社会	事務所周辺、街の美化活動を全国会員企業全体で取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 美化活動実施率:25%(正会員57社)	<2030年に向けた指標> 会員企業80% <3年後に向けた指標> 会員企業40%
経済	環境配慮型商品(抗菌・消臭・ウイルス対策剤)(断熱/抗菌・抗カビ塗装)(加圧超高温水洗浄)の工事件数を増加する。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮型商品の工事件数:のべ15件	<2030年に向けた指標> のべ200件 <3年後に向けた指標> のべ50件

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月30日
住 所 埼玉県本庄市日の出1-5-7
県内企業等の名称 真下建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 真下 敏明

真下建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、社是において『進取の精神で地域社会の発展に貢献するとともに社員・作業員の永続的幸福に務め、併せて関連企業の繁栄をはかる』を掲げている。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	低炭素社会の実現に向け、太陽光発電による再生可能エネルギー生産の持続 <(現状値)2023年の数値> 再生可能エネルギーの生産量: 45万kWh/年	<2030年に向けた指標> 再生可能エネルギーの生産量:445万kWh/10年 <3年後に向けた指標> 再生可能エネルギーの生産量:135万kWh/3年
社会	社員参加の社会貢献活動の推進 <(現状値)2023年の数値> 地元小学生の河川調査活動への協力: 2回/年 道路の美化活動:11回/年	<2030年に向けた指標> 河川調査活動への協力:2回/年 美化活動:14回/年 <3年後に向けた指標> 河川調査活動への協力:2回/年 美化活動:13回/年
経済	働きがいのある人間らしい仕事の実践 <(現状値)2023年の数値> 平均有給休暇取得日数:10日	<2030年に向けた指標> 平均有給休暇取得日数:12日/年 <3年後に向けた指標> 平均有給休暇取得日数:11日/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月16日

住 所 埼玉県川口市栄町3-13-1樹モールプラザ3階

県内企業等の名称 埼玉興産株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 北濱 雄嗣

埼玉興産株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は基本理念である「語り継がれる信頼」に基づき行動し、地域で一番愛され、働きがいのある建設会社を目標に顧客、社員及び地域社会の幸福と発展に貢献する。これはSDGsと同じ方向を目指すものであり、従業員全員が着実に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2023年の数値> エネルギー使用量:年間11t/40人= 0.27t/人	<2030年に向けた指標> CO ₂ 排出量の削減 12%/人 <3年後に向けた指標> CO ₂ 排出量の削減 8.8%/人
社会	社員参加型社会貢献活動の推進として近隣清掃活動を行う。 <(現状値)2023年の数値> 近隣清掃活動の実施:年10回 延べ85名参加	<2030年に向けた指標> 年12回 延べ150名参加 <3年後に向けた指標> 年12回 延べ100名参加
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 女性の管理職割合:10%(1名/11名)	<2030年に向けた指標> 女性管理職割合 40% <3年後に向けた指標> 女性管理職割合 20%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 3月 5日
住 所 埼玉県上尾市宮本町9-8
県内企業等の名称 株式会社鈴木薬局
代表者役職 氏名 代表取締役 社長 岩崎英治

株式会社鈴木薬局 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「地域の方の健康と幸せに貢献する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ビニール手提げ袋の使用量を削減し、利用率9%以下を目指す。 <(現状値)2023年の数値> 配布量:172.34kg、利用率:10.83% (削減量1417.72kg)	<2030年に向けた指標> 利用率8.5%(削減量1460kg) <3年後に向けた指標> 利用率9.5%(削減量1440kg)
社会	女性管理職の育成をすすめる。 <(現状値)2023年の数値> 女性管理職比率:23.46%	<2030年に向けた指標> 女性管理職比率 30% <3年後に向けた指標> 女性管理職比率 25%
経済	ジェネリック医薬品使用率90%以上を目標とし、医療費上昇抑制に貢献する。 <(現状値)2023年の数値> ジェネリック医薬品使用率90%以上の店舗:55%(22店舗/40店舗)	<2030年に向けた指標> 80%(32店舗) <3年後に向けた指標> 70%(28店舗)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月7日
住 所 埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番地11
県内企業等の名称 一般社団法人埼玉県環境検査研究協会
代表者役職氏名 代表理事 野口 裕司

一般社団法人埼玉県環境検査研究協会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当協会は、基本理念である「For ECO (環境のために、お客様のために、そして組織のために)」に基づき、公益事業、収益事業の推進を通して、環境が基盤となる国際、国内、そして地域の各社会の持続的な発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と方向を同じくするものであり、従業員一人ひとりが各々の責務と役割を踏まえてSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①売上額当たりの二酸化炭素排出量の削減 ②浄化槽法定検査実施基数の向上 <(現状値)2022年の数値> ①0.399kg-CO2/千円 ※基準年(2017年度):0.568kg-CO2/千円 ②43,657基	<2030年に向けた指標> ①0.284kg-CO2/千円(基準年度比 Δ50%)、②70,000基 <3年後に向けた指標> ①0.341kg-CO2/千円(基準年度比 Δ40%)、②53,600基
社会	①環境情報発信・交流の増大 ②環境活動への累積寄付額 <(現状値)2022年の数値> ①18万3千件 ②2019年度からの累計335万円	<2030年に向けた指標> ①30万件、②2019年度からの累計1,000万円 <3年後に向けた指標> ①23万件、②2019年度からの累計580万円
経済	①多様な働き方の推進 ②従業員の健康の維持増進 <(現状値)2022年の数値> ①県・多様な働き方実践企業プラチナ認定済 ②県・健康経営認定済	<2030年に向けた指標> ①えるぼし認定(3段階目)、②国・健康経営優良法人認定 <3年後に向けた指標> ①えるぼし認定(1段階目)、②さいたま市健康経営企業認定

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2 月 9 日

住 所 埼玉県所沢市緑町1丁目1番11号

県内企業等の名称 西武緑化管理株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 植田 共一

西武緑化管理株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

西武グループでは、グループビジョンとして「地域・社会の発展、環境の保全に貢献」すること、「常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れない」ことを宣言しています。
事業活動を通じて、環境(Enbironment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)を重視した「ESG投資」を推進するため、「持続可能な開発目標(SDGs)」に取り組むことによりSDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事務所における緑化率のアップ(インドアグリーン) <(現状値)2023年の数値> 事務所における緑化率:1%(6.85㎡)	<2030年に向けた指標> 事務所における緑化率:10% <3年後に向けた指標> 事務所における緑化率:5%
社会	女性管理職の登用促進 <(現状値)2023年の数値> 女性管理職の登用:20%(2人)	<2030年に向けた指標> 女性管理職の登用:30% <3年後に向けた指標> 女性管理職の登用:20%
経済	障害者の雇用促進 <(現状値)2023年の数値> 障害者の雇用人数:2人(3.06%)	<2030年に向けた指標> 障害者の雇用人数:5人 <3年後に向けた指標> 障害者の雇用人数:3人

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日
住 所 埼玉県川口市仲町5-11
県内企業等の名称 前澤工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 宮川 多正

前澤工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「水とともに躍進し 人間らしさをもとめ 社会に貢献できる 魅力ある企業」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	下水処理において30%以上の消費電力を削減できる「OD法における二点DO制御システム」の普及を図る <(現状値)2023年の数値> 二点DO全国導入件数:8件(累計)	<2030年に向けた指標> 二点DO導入件数:13件(累計) <3年後に向けた指標> 二点DO導入件数:10件(累計)
社会	「埼玉発世界行き」冠奨学金制度への協力によるグローバル人材育成への貢献 <(現状値)2023年の数値> グローバル人材育成:1人/年(累計3人)	<2030年に向けた指標> グローバル人材育成:1人/年(累計10人) <3年後に向けた指標> グローバル人材育成:1人/年(累計6人)
経済	多様な働き方やジェンダー平等の観点から、男性育児休業取得率の向上に努める <(現状値)2023年の数値> 男性育児休暇取得率:40%(取得者10名・対象者4名)	<2030年に向けた指標> 男性育児休業取得率100%以上 <3年後に向けた指標> 男性育児休業取得率50%以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 2日
住 所 埼玉県本庄市日の出2-1-46
県内企業等の名称 株式会社 関口組
代表者役職 氏名 代表取締役 関口 ユカ

株式会社 関口組

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業1882年以来継続して培ってきた公共建設工事を通して、業務方針である【品質及び環境パフォーマンスの向上】に基づき工事を行い、地域社会の「より住みやすく」「より安全」な環境の整備・発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、全ての職員が丁寧に正確な作業を積み重ねることにより、その結果がSDGsの達成にも貢献する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 【CO2排出量】 3年間平均:29.4t-CO2 (埼玉県エコアップ認証基準値に準ずる)	<2030年に向けた指標> CO2排出量の削減:10%(対基準値) <3年後に向けた指標> CO2排出量の削減:2.0%(対基準値)
社会	社会参加型・社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①地域の美化活動:9回/年・のべ39人 ②フードバンク・生活用品の寄付や募金活動:5回/年	<2030年に向けた指標> ①15回/年・のべ80人 ②8回/年 <3年後に向けた指標> ①11回/年・のべ60人 ②6回/年
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①女性の管理職割合:67% ②高齢者の雇用比率:17%	<2030年に向けた指標> ①67% ②30% <3年後に向けた指標> ①67% ②22%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日
住 所 埼玉県東松山市松本町1-2-6
県内企業等の名称 中里建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 中里 一夫

中里建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、SDGsの達成に向けて各認証制度を有効活用しながら、企業そのものが地域社会の一員である事を認識し、地域社会の発展に貢献する事業活動を実践していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	二酸化炭素排出量を削減する。 基準値、削減率の算出などは、エコアップ 認証制度の活動に準ずる。 <(現状値)2023年の数値> 削減率:9.0% ※基準値:74.1t (2015年~2017年実績の平均値)	<2030年に向けた指標> 二酸化炭素排出量の削減率:13.0% <3年後に向けた指標> 二酸化炭素排出量の削減率:10.0%
社会	美化活動の実施 <(現状値)2023年の数値> 美化活動:2回/年 参加人数:50%	<2030年に向けた指標> 美化活動:2回/年 参加人数100% <3年後に向けた指標> 美化活動:2回/年 参加人数70%
経済	多様な働き方の推進 <(現状値)2023年の数値> 女性社員の雇用比率:8% 高齢者の雇用比率:5%	<2030年に向けた指標> 女性社員の雇用比率:10% 高齢者の雇用比率:8% <3年後に向けた指標> 女性社員の雇用比率:9% 高齢者の雇用比率:6%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 15日
住 所 埼玉県川口市柳崎5-2-33
県内企業等の名称 中原建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 中原 誠

中原建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

中原建設株式会社はSDGs達成に向けた取組みに賛同し、人々の安全な暮らしをしっかりと下支えする地域の建設会社として、社員一人一人がSDGsを理解、共感し、持続可能な開発目標の達成へ向けて行動します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減及び温室効果ガス使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> ①エネルギー使用量:401kl/年 ②温室効果ガス排出量:789t/年	<2030年に向けた指標> 2023年比削減 ①5% ②5% <3年後に向けた指標> 2023年比削減 ①2% ②1%
社会	社会参加型・社会貢献活動の推進及び社会福祉施設等の理解、支援を行う。 <(現状値)2023年の数値> ①作業所単位での環境美化運動の実施:80%(20現場中16現場実施) ②社会福祉施設等への寄付:15万円(前年同額)	<2030年に向けた指標> ①90% ②現状の6.6倍 <3年後に向けた指標> ①80% ②現状の2倍
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①女性の従業者割合:18% ②新規学卒者の3年目離職率:0%	<2030年に向けた指標> ①20% ②0% <3年後に向けた指標> ①18% ②0%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 6日
住 所 埼玉県所沢市南住吉8番19号
県内企業等の名称 平岩建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 平岩 敏和

平岩建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

平岩建設株式会社は経営理念に基づき、自然と調和した快適な生活空間の創造という仕事を通じ、地域とパートナーシップを組みながら、環境保全や災害に強いまちづくりに専心し、全社員がSDGsの取組に目を向け、平岩建設だけでなくヒライワグループ、ひいては協力企業と全社一丸となって、SDGs達成に向けて取り組んでまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地球温暖化防止対策の一環としてCO2抑制の為に、社有車のエコカー導入率を向上させる。 <(現状値)2023年の数値> エコカー率:55%	<2030年に向けた指標> エコカー率 100% <3年後に向けた指標> エコカー率 75%
社会	社員参加型、社会貢献活動の推進として、地域の美化活動に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 社員参加率:56%	<2030年に向けた指標> 社員参加率 100% <3年後に向けた指標> 社員参加率 70%
経済	働き方改革を推進する中で、作業所勤務者の4週8休に向け、積極的に取り組んでいく。 <(現状値)2022年※の数値> 4週8休率:52% ※4週8休率は弊社の算定期間が年度末(4月)の為、前年度を記載しております。	<2030年に向けた指標> 4週8休率 100% <3年後に向けた指標> 4週8休率 75%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県志木市下宗岡2-18-20
県内企業等の名称 大村商事株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 大村 相哲

大村商事株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は廃棄物の収集運搬およびリサイクルを行う業者として、エコアクション21の環境方針・基本理念に基づいた「赤とんぼが棲めるきれいなまちづくり」をモットーに、環境問題を身近な問題として自覚し、地域環境の美化・保全と地域コミュニティー工場に全力で取り組む。
具体的には、3R(リデュース・リユース・リサイクル)等の普及・促進を持続的に行い、近隣地域の環境負荷を軽減することにより、足元から地球規模の環境問題に対してとSDGsの達成に貢献する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコドライブ等による燃料(軽油・ガソリン)使用量、二酸化炭素排出量の削減を図る。 <(現状値)2023年の数値> (売上高 原単位として) 燃料:226ℓ/百万円 Co2:670kg/百万円	<2030年に向けた指標> 20%削減(燃料:175ℓ/百万円、Co2:527kg/百万円) <取組開始3年後に向けた指標> 15%削減(燃料:219ℓ/百万円、Co2:659kg/百万円)
社会	農産物の地産地消に貢献するため、当社でリサイクルされた食品バイオマス肥料の利用者(一般市民および農家)数増加を図る。 <(現状値)2023年の数値> 一般市民:618件 農家:200件	<2030年に向けた指標> 一般市民:900件 農家:350件 <取組開始3年後に向けた指標> 一般市民:700件 農家:300件
経済	生前整理を中心とした不用品回収事業や古物買取事業を拡大し、孤独死や空き家問題の軽減、断捨離文化の推進を図る。 <(現状値)2023年の数値> 1か月あたり平均件数:194件	<2030年に向けた指標> 1か月あたり平均件数:250件 <取組開始3年後に向けた指標> 1か月あたり平均件数:200件

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月30日
住 所 埼玉県川口市西川口2-7-1
県内企業等の名称 株式会社ユニパック
代表者役職 氏名 代表取締役社長 松江 昭彦

株式会社ユニパック はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「知恵を技術に 心を人に」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に
事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業所内の電気LED化等を実施し、事業所エネルギー使用量の削減を実施する。 <(現状値)2023年の数値> ①エネルギー使用量:23,501kwh ②3R、生物多様性に考慮した製品開発継続中	<2030年に向けた指標> ①2023年度比 20%削減 ②継続実施 <3年後に向けた指標> ①2023年度比 5%削減 ②継続実施
社会	会社で街の美化活動を実施するとともに、地域のボランティア活動へ参加する。 <(現状値)2023年の数値> 参加人数:延べ80名/年	<2030年に向けた指標> 参加人数:延べ150人/年 <3年後に向けた指標> 参加人数:延べ100人/年
経済	高齢者並びに外国人の雇用を継続し多様な働き方・多様な人材活躍を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 高齢者(65歳以上)・外国人の雇用:8名	<2030年に向けた指標> 高齢者・外国人の雇用:10名 <3年後に向けた指標> 高齢者・外国人の雇用:9名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日

住 所 埼玉県さいたま市南区文蔵1-19-17

県内企業等の名称 大和リース株式会社 さいたま支店

代表者役職 氏名 支店長 古賀 章

大和リース株式会社 さいたま支店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「事業を通じて人を育て、企業を通じて社会を育てる」というSDGsに合致する経営方針のもと、既存事業を基盤として、世界の共通課題を視野に入れ、事業領域の拡大を図るとともに、イノベーションを駆使して経済・環境・社会の諸課題を解決する新たな事業を創出します。世界共通ルールである「SDGs17目標・169ターゲット」を見据えて、社会環境の変化に対応しながら、社会の包括的な成長に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減 ②施工面積あたりの産業廃棄物排出量の削減 <(現状値)2022年度の数値> ①実績:158.1t ②実績:39.5t/m ²	<2030年に向けた指標> ①10%減 ②8%減 <3年後に向けた指標> ①3%減 ②3%減
社会	①育児休暇取得率の向上 ②ボランティア活動参加人数の増加(延べ人数) <(現状値)2022年度の数値> ①実績:1名取得(100%取得) ②実績:延べ255名/年	<2030年に向けた指標> ①100%取得の継続 ②50%増 <3年後に向けた指標> ①100%取得の継続 ②30%増
経済	当社提案によるZEB物件の施工件数を増やす <(現状値)2022年度の数値> 実績:7件/年	<2030年に向けた指標> 20件/年 <3年後に向けた指標> 10件/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 18日
住 所 埼玉県さいたま市桜区田島7-2-23
県内企業等の名称 公益財団法人埼玉県下水道公社
代表者役職氏名 理事長 末柄 勝朗

公益財団法人埼玉県下水道公社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「経営方針」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	下水処理における温室効果ガスの排出量削減に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> ※2022年度実績 温室効果ガス排出量:27.9%削減 (2013年度(322,383t-co2)比)	<2030年に向けた指標> 温室効果ガス排出量:46%削減(2013年度比) <3年後に向けた指標> 温室効果ガス排出量:31%削減(2013年度比)
社会	下水道への理解促進を図る。 <(現状値)2023年の数値> ※いずれも2022年度実績 ①公社ホームページ・SNS閲覧者及び各種イベント参加者数:212,808人/年 ②うち施設見学等参加者数:5,153人/年	<2030年に向けた指標> ①25万人/年 ②8千人以上/年 <3年後に向けた指標> ①17万人/年 ②8千人以上/年
経済	多様な人材が十分に活躍できる環境を整備する。 <(現状値)2023年の数値> 女性職員の割合:6.6%	<2030年に向けた指標> 女性職員の割合:13.2% <3年後に向けた指標> 女性職員の割合:9.1%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月8日
住 所 埼玉県さいたま市緑区美園二丁目1番地
県内企業等の名称 浦和レッドダイヤモンド株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 田口 誠

浦和レッドダイヤモンド株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たち浦和レッズは、クラブ理念の宣言に「サッカーを初めとするスポーツの感動や喜びを伝え、スポーツが日常にある文化を育み、次世代に向けて豊かな地域・社会の実現」を掲げ、クラブ全体で「SDGs」に参画しております。クラブ理念の宣言は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向をめざすものです。これからも社会的課題解決のため、企業に求められる役割の変化、そしてサッカーというスポーツと深くかかわっている身として果たすべき役割を理解し、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取組み、SDGsの達成をめざしてまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	○埼玉スタジアムで紙コップのリサイクルを指定管理者と協力して取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 年間平均回収率:46%	<2030年に向けた指標> 平均回収率60%維持 <3年後に向けた指標> 平均回収率60%達成
社会	スポーツが育む「こころ」をテーマにする活動(サッカースクール、小学校授業サポート等)を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 406回/年 実施 累計実施回数:10,720回 ※スクールを開始した2003年からの回数	<2030年に向けた指標> 400回/年実施の継続、累計13,000回以上達成 <3年後に向けた指標> 400回/年実施の継続、累計11,920回以上達成
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> レディース本部職員 女性比率:75%	<2030年に向けた指標> レディース本部職員 女性比率50%以上維持 <3年後に向けた指標> レディース本部職員 女性比率50%以上維持

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2 月 9 日
住 所 埼玉県熊谷市村岡306番地1
県内企業等の名称 株式会社ケージーエム
代表者役職 氏名 代表取締役 小林 正裕

株式会社ケージーエム はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念と同時に「行動規範」を設けており、1)普通の事をしっかりと積み重ねる。2)太陽の下で正々堂々と王道を歩む。3)思いやりを大切にし、人のために真剣につくす。4)品性、完成、知性のひらめきを持った企業文化をつくりあげる。と定め行動しています。
この考え方はSDGsにもつながるものであり、社員全員で事業に取組み、SDGsの達成に貢献すべく取り組んでまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	・省エネルギーに取組む。 ・エコキャップ活動の取組推進 ・低燃費車の導入促進 <(現状値)2023年の数値> ①エネルギー削減(全車両平均燃費):16.6km/L ②エコキャップ回収数:2,808個/年 ③低燃費車比率:30.8%	<2030年に向けた指標> ①17.5km/L ②4,000個/年 ③80% <3年後に向けた指標> ①17.0km/L ②3,000個/年 ③60%
社会	・彩の国ロードサポート:年4回に全社員参加 ・埼玉県農林公園の清掃活動:年4回実施。 ・「子ども食堂」運営支援(協賛利用の拡大) <(現状値)2023年の数値> ①ロードサポート:年4回、各回平均13名参加 ②埼玉県農林公園の清掃活動:年4回実施 ③社員の「子ども食堂」協賛利用:年2回利用	<2030年に向けた指標> ①全社員 ②年4回 ③年12回 <3年後に向けた指標> ①各回15名 ②年4回 ③年4回
経済	・多様な働き方の推進 ・女性技能者の積極的採用 ・子育てと仕事の両立支援 <(現状値)2023年の数値> ①高齢者の雇用数:10名 ②女性技能者の積極的採用:3名 ③女性管理職割合:6.0%(1名/16名)	<2030年に向けた指標> ①10名以上 ②10名以上 ③12%以上 <3年後に向けた指標> ①10名以上 ②5名以上 ③6%以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月30日
住 所 埼玉県川越市神明町13-8
県内企業等の名称 株式会社 中里組
代表者役職 氏名 代表取締役 中里 寿光

株式会社 中里組 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、顧客の信頼と満足を得ることを目指し、品質に優れた土木工事を提供することにより、地域から信頼され、求められる建設会社として、地域社会の整備、発展に貢献することを経営方針のベースとし、品質・環境においてもISO9001、ISO14001を取得の際に、それぞれに方針を定めております。

当社の方針は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指しているものであり、今後も誠実に事業活動に取り組み、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	廃棄物の再資源化率の向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> 再資源化率:66.9% (2023年度12月時点の数値)	<2030年に向けた指標> 再資源化率:80.6% <3年後に向けた指標> 再資源化率:80.2%
社会	社会貢献活動の推進 <(現状値)2023年度12月までの数値> 街の美化活動:年1回(参加者のべ8人) (2023年度12月時点の数値)	<2030年に向けた指標> 街の美化活動:年5回(参加者のべ53人) <3年後に向けた指標> 街の美化活動:年4回(参加者のべ34人)
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 高齢者の雇用比率:3% (2023年度12月時点の数値) ※2023年度末には、7%に達する見込み	<2030年に向けた指標> 高齢者の雇用比率:15% <3年後に向けた指標> 高齢者の雇用比率:12%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2 月 6 日
住 所 埼玉県新座市野火止三丁目10番7号
県内企業等の名称 MASUKI GROUP
代表者役職氏名 株式会社増木ホールディングス 代表取締役 増田 敏政

MASUKI GROUP

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社MASUKI GROUP(株式会社増木ホールディングス・株式会社増木・株式会社増木工務店・増木工業株式会社)は、明治5年に増木木材店として創業して以来、「誠実・勤勉・奉仕」を歴代不変の鉄則として掲げ、地元密着型の工務店として地域社会の発展に貢献してきました。環境に対応し順応しながら企業文化や企業の生き様を若い世代に残しつつ、共に育んでいくことが中小企業である弊社に課せられた使命であると考えております。これからもMASUKI GROUP全体で建築を通して、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①社用車を環境配慮型車両に移行する。 ②コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両率:20% ②コピー用紙の使用枚数:381,832枚	<2030年に向けた指標> ①環境配慮型車両率:40% ②コピー用紙の使用枚数:25%削減 <3年後に向けた指標> ①環境配慮型車両率:25% ②コピー用紙の使用枚数:10%削減
社会	①従業員の年間休日数を増やす。 ②地域の子どもの職業体験を受け入れる。 <(現状値)2022年の数値> ①従業員の年間休日数:114日 ②地域の子どもの職業体験:4件	<2030年に向けた指標> ①従業員の年次休暇取得日数:120日 ②地域の子どもの職業体験:5件 <3年後に向けた指標> ①従業員の年次休暇取得日数:114日 ②地域の子どもの職業体験:4件
経済	①地域の事業者・顧客との取引を増やす。 ②環境配慮型商品の売上を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①地域の事業者・顧客との取引:2,135件/年 ②環境配慮型商品の売上:10,850万円/年	<2030年に向けた指標> ①地域の事業者・顧客との取引:25%増 ②環境配慮型商品の売上:25%増 <3年後に向けた指標> ①地域の事業者・顧客との取引:5%増 ②環境配慮型商品の売上:8%増

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月26日
住 所 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1505
県内企業等の名称 株式会社コア
代表者役職 氏名 代表取締役 小林 彩子

株式会社コア はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は企業理念である「デザインは生活である」に基づき行動し、デザインを通して社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社内全体が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙資源や印刷資材の削減に努めている。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙購入量:48,750枚	<2030年に向けた指標> コピー用紙購入量:20%削減(2023年比) <3年後に向けた指標> コピー用紙購入量:10%削減(2023年比)
社会	多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。 <(現状値)2023年の数値> 女性従業員数:10名	<2030年に向けた指標> 女性従業員数、3名増 <3年後に向けた指標> 女性従業員数、2名増
経済	契約事務の電子化など、事務の効率化に努めている。 <(現状値)2023年の数値> 契約事務作業時間:10時間/月	<2030年に向けた指標> 契約事務作業時間:8%削減(2023年比) <3年後に向けた指標> 契約事務作業時間:3%削減(2023年比)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2 月 9 日

住 所 さいたま市大宮区桜木町1-195-1 大宮ソラミチK0Z 11F

県内企業等の名称 望月印刷株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役社長 望月 諭

望月印刷株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

望月印刷株式会社は、企業理念『メディアコミュニケーションを通じて、お客様・地域社会・従業員に笑顔と豊かさを創造する』のもと、情報産業のメディア事業者として、地域の皆様と深く関わり、地域経済の発展、地域社会との共生を考え歩んで参りました。
2020年5月25日で創業70周年を迎えたことを機に、SDGsを企業活動の重要な目標と捉え、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立させることにより、従業員一丸となり、お客様、地域社会とともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境配慮型商品の利用促進に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮型商品の利用件数: 340件/年	<2030年に向けた指標> 利用件数 400件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 利用件数 380件/年
社会	ワークライフバランスの取り組みと従業員の年次休暇取得の推進する。 <(現状値)2023年の数値> 年次休暇平均取得率: 62.9 %	<2030年に向けた指標> 年次休暇平均取得率80% <取組開始3年後に向けた指標> 年次休暇平均取得率65%
経済	メディアサービス事業の拡充 コミュニケーション手段としてのWEB制作・映像制作・SNSプロモーションのデジタルサービス事業で、交流人口増加と消費活動活性化の促進を図る。 <(現状値)2023年の数値> メディアサービス事業: 売上全体の4.0%/年	<2030年に向けた指標> メディアサービス事業の売上を全体売上の20%/年 <取組開始3年後に向けた指標> メディアサービス事業の売上を全体売上の10%/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月8日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-199-3

県内企業等の名称 株式会社 日さく

代表者役職 氏名 代表取締役社長 若林 直樹

株式会社 日さく

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「伝統的な技術と最新の技術で我が国のみならずグローバルな展開を図り幸福な社会づくりに貢献していきます。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業所の電気使用量および水使用量の削減 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:325,560kwh/年 ②水使用量:1,561m ³ /年	<2030年に向けた指標> ①電気使用量の削減(前年度比):3% ②水使用量の削減(前年度比):3% <3年後に向けた指標> ①電気使用量の削減(前年度比):3% ②水使用量の削減(前年度比):3%
社会	社会貢献活動としての防災井戸設置及び美化活動への参加 <(現状値)2022年の数値> ①防災井戸設置:2本 ②美化活動への参加:40回/年 延べ219人	<2030年に向けた指標> ①8本 ②50回/年 延べ300人 <3年後に向けた指標> ①4本 ②45回/年 延べ250人
経済	仕事と生活の調和及び多様性、健康経営の強化、女性活躍の推進 <(現状値)2022年の数値> ①平均時間外労働:112時間/年 ②女性技術者:8.4% ③女性管理職:6.5% ④高齢者:8.4% ⑤健康診断再検査受診率:55.4%	<2030年に向けた指標> ①時間外労働削減(前年度比):3% ②10% ③9.5% ④10% ⑤100% <3年後に向けた指標> ①時間外労働削減(前年度比):3% ②9% ③8% ④8.4% ⑤80%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 31日

住 所 埼玉県さいたま市桜区西堀5-9-39

県内企業等の名称 株式会社埼玉測機社

代表者役職 氏名 代表取締役 門脇 淳

株式会社埼玉測機社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は企業理念にて「信用と信頼を得る為の努力、平等を重んじ公平を尊重する、顧客満足を得る為の努力」を行うことにより、「社員の幸福と、会社の永続的な成長を目指し、社会に貢献する」を掲げております。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	・エコ製品への入替及びエコ運転により使用エネルギーの削減・排ガス抑制 ・リサイクル商材の販売推進 <(現状値)2023年の数値> ①使用電力量:58,017kwh ②使用燃料:60,374L(35台) ③廃プラ杭販売実績:5,422千円	<2030年に向けた指標> ①、②20%削減 ③20%増額 <3年後に向けた指標> ①、②10%削減 ③10%増額
社会	・事故等の救命設備(AED等)の社内設置および建設現場へのレンタル設置拡充 ・近隣の学校との連携による防犯活動 <(現状値)2023年の数値> ①AED社内設置済み レンタル機保有数50台 年間稼働率46% ②防犯防災用品販売実績:3,542千円	<2030年に向けた指標> ①保有台数50台/稼働率70% ②20%増額 <3年後に向けた指標> ①保有台数50台/稼働率65% ②10%増額
経済	中小企業等経営強化法に基づいた経営革新計画の取り組み <(現状値)2023年の数値> ①承認取得(令和2年5月):3年目 経営向上の程度を示す指数 ②1人当たりの付加価値額:9,422千円	<2030年に向けた指標> ①経営革新計画の継続 10年 ②付加価値額10,000千円 <3年後に向けた指標> ①経営革新計画の継続 6年 ②付加価値額9,422千円

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月24日
住 所 埼玉県入間市扇台1-5-25
県内企業等の名称 入間ガスグループ
代表者役職 氏名 代表取締役 中澤 理

入間ガスグループはSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

入間ガスグループ(入間ガス㈱・入間ガスサービス㈱)の企業理念である「総合エネルギー企業として、お客様との信頼をすべての事業の基礎とし、お客様志向の視点に立ち、地域社会の発展へ貢献」に基づき行動するという考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	脱炭素化に向けて、自社の商用車を環境配慮型車両に入替え、及びペーパーレス化によるコピー用紙の使用枚数削減 <(現状値)2023年の数値> ・環境配慮型車両台数:4台(保有台数42台) ・コピー用紙使用枚数:359,000枚	<2030年に向けた指標> 環境配慮型車両台数:25台、コピー用紙:255,000枚 <3年後に向けた指標> 環境配慮型車両台数:10台、コピー用紙:359,000枚
社会	多様な人材の活用、及びワークライフバランス及びワークライフインテグレーションのもと、働き方改革推進 <(現状値)2023年の数値> ・障害者雇用数:1人(下記役員除く57名) ・超過労働時間:87時間/年間 ・有給休暇取得日数:11.6日/年間	<2030年に向けた指標> 障害者雇用数:2人、超過労働時間:64時間、有休取得日数:12日 <3年後に向けた指標> 障害者雇用数:2人、超過労働時間:72時間、有休取得日数:11.6日
経済	地域の活性化に向けて、計画的な設備投資、及び女性活躍推進法の取り組み <(現状値)2023年の数値> ・導管の延伸(m):211,000m ・女性の役職者登用数(チーフ4等級以上):7名(合計)	<2030年に向けた指標> 導管の延伸:230,000m、女性の役職者登用数:7名(継続) <3年後に向けた指標> 導管の延伸:218,000m、女性の役職者登用数:7名(継続)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月16日

住 所 埼玉県さいたま市南区沼影1-20-1 武蔵浦和大栄ビル203

県内企業等の名称 東京ガス株式会社

代表者役職 氏名 埼玉支社長 細田 千恵

東京ガス株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

東京ガスグループでは、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組むことで、社会の持続的発展に貢献することをサステナビリティ推進の考え方としています。これはSDGsの考え方と一致するものであり、当社グループの事業活動はSDGsの達成に幅広く貢献できるものと考えています。今後、社会課題を起点とした事業機会創出にも取り組むことで、より一層SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	「CO2ネット・ゼロ」をリード ・エネルギー安定供給を確保しながら、天然ガス高度利用によりCO2削減。 ・ガス・電力の脱炭素化を進め、自社の排出削減ノウハウをソリューション化し、お客さまに貢献。 <(現状値)2022年の数値> CO2削減貢献:▲635万トン/年	<2030年に向けた指標> CO2削減貢献 ▲1,700万トン/年 <取組開始3年後に向けた指標> CO2削減貢献 ▲1200万トン/年
社会	「価値創造」のエコシステム構築 ・小売分野の再構築 ・新たなアプローチで電力拡販 ・ラストワンマイルやデジタルを活用したビジネスモデル確立 <(現状値)2022年の数値> お客さまアカウント数:1,300万件(累計)	<2030年に向けた指標> お客さまアカウント数 2,000万件(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 2030年目標に向けて着実に取り組んでいく
経済	LNGバリューチェーンの変革 ・LNGトレーディングの拡大 ・オペレーション体制の強化 ・LNGビジネス拡大に資する調達 <(現状値)2022年の数値> 天然ガス取扱量:1,900万トン/年	<2030年に向けた指標> 天然ガス取扱量 2,000万トン/年 <取組開始3年後に向けた指標> 2030年目標に向けて着実に取り組んでいく

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 16日

住 所 埼玉県さいたま市北区宮原町2-45-1

県内企業等の名称 リコージャパン株式会社 埼玉支社

代表者役職 氏名 支社長 平井直樹

リコージャパン株式会社 埼玉支社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

リコーグループでは、SDGsを経営の中心に捉え、「事業を通じた社会課題解決」「経営基盤の強化」「社会貢献」の3つの活動に取り組み、国際社会で合意されたSDGsの達成に貢献しています。2017年にはマテリアリティ(重要社会課題)を設定。リコージャパンでは2020年度から事業とSDGsの同軸化(一体化)として、製品・サービスの提供そのものが地域や社会に貢献していることを社員が認識し、お客様に伝えながら、社会課題の解決を加速させています。また、経営基盤の強化や社会貢献分野でも着実に取り組みを進めています。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保全活動と経営活動を同軸であると捉え、自ら責任を持ち、環境負荷の削減と地球の再生能力の向上に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> GHGスコープ1,2削減率:45.5% ※2015年度比	<2030年に向けた指標> 削減率:63%(リコーグループ全体) ※2015年比 <3年後に向けた指標> 削減率:50%(リコーグループ全体) ※2015年比
社会	社員参加型の社会貢献活動を行う。 1)はたらくひとのインクルージョン支援 2)地域・社会の発展 3)気候危機への対応と生物多様性保全 <(現状値)2022年の数値> 社員の社会貢献活動参加率:79.1%	<2030年に向けた指標> 92.9%(リコージャパン全体) <3年後に向けた指標> 89.4%(リコージャパン全体)
経済	多様な人財がお互いの違いを認めあい、個性・能力を發揮できる会社風土づくりを目指す。 <(現状値)2022年の数値> 女性管理職割合:7.1%	<2030年に向けた指標> 13.5%(リコージャパン全体) <3年後に向けた指標> 8%(リコージャパン全体)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月18日
住 所 埼玉県戸田市新曽南2-9-23
県内企業等の名称 ナチュラルユニティー株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 駒崎 一豪

ナチュラルユニティー株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は植物原料を扱う自然療法を提供する企業として、「自然の恵みに感謝し持続可能なセラピー」に基づき地域社会の発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員が誠実に取り組み、専門知識の教育にも取り入れることで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	取引先メーカーと協力して化粧品空き容 器の回収、リサイクル活動を実施する。 <(現状値)2023年の数値> 空き容器の改修・リサイクル:233本/年	<2030年に向けた指標> 500本/年 <3年後に向けた指標> 300本/年
社会	地域の福祉施設へのボランティア活動 <(現状値)2023年の数値> 0回/年(コロナ対策のため中止したが 2024年再開予定)	<2030年に向けた指標> 12回/年×2施設 参加者のべ50名/年 <3年後に向けた指標> 12回/年 参加者のべ36名/年
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①サロン開業:3名(開業サポート8名) ②講師開業:3名(サポート12名) ③働ける場所の提供を実施:2名	<2030年に向けた指標> ①30名 ②30名 ③10名 <3年後に向けた指標> ①10名 ②10名 ③3名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月1日
住 所 埼玉県行田市荒木1735番地
県内企業等の名称 社会福祉法人聖徳会
代表者役職 氏名 理事長 蛭間 順子

社会福祉法人聖徳会

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

社会福祉法人聖徳会は、社是「すべては人を愛する心から」、経営理念「今を助け、未来を拓く」、目指す職員像「ライフサポーター」に基づき行動し、地域社会の福祉および発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員一人ひとりが、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量削減のため、照明のLED化を図る。 <(現状値)2023年の数値> 照明LED割合:約70%	<2030年に向けた指標> 照明LED化率:100% <3年後に向けた指標> 照明LED化率:90%
社会	福祉・教職課程を専攻する実習生の積極的受入れ。 <(現状値)2023年の数値> 実習生:年間25人 ※当初宣言時の目標値は年間15人であり、目標値の引き上げを行っている。	<2030年に向けた指標> 実習生:年間20人 <3年後に向けた指標> 実習生:年間20人
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 女性の管理職割合:45.5% ※当初宣言時の目標値は35%であり、既に達成済のため、維持継続に努める。	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合:45.5% <3年後に向けた指標> 女性の管理職割合:45.5%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 24日
住 所 埼玉県さいたま市中央区上落合2-2-1
県内企業等の名称 埼玉トヨペットホールディングスグループ
代表者役職 氏名 代表取締役会長兼社長 平沼 一幸

埼玉トヨペットホールディングスグループ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

埼玉トヨペットホールディングスグループは『地球環境・地域社会の持続可能な発展に貢献する』という基本理念を掲げ、社員一人ひとりにこの基本理念を浸透させ、誠実に事業活動に取組む事によりSDGsの達成に貢献していく

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	緑豊かな魅力ある街づくりに向けた「ふれあいグリーンキャンペーン」への継続的な取り組み <(現状値)2023年の数値> 苗木寄贈:500本(累計18,000本)	<2030年に向けた指標> 5,000本(累計23,000本) <3年後に向けた指標> 1,500本(累計19,500本)
社会	子供の居場所づくりへの運営参加 <(現状値)2023年の数値> フードパントリー開設:6ヶ所(累計) 子ども食堂開設:0ヶ所(累計)	<2030年に向けた指標> フードパントリー14ヶ所開設(累計) 子ども食堂4ヶ所開設(累計) <3年後に向けた指標> フードパントリー10ヶ所開設(累計) 子ども食堂2ヶ所開設(累計)
経済	積極的な障がい者雇用の推進 <(現状値)2023年の数値> 埼玉トヨペットホールディングスグループ 全体の障がい者雇用率:2.7% (58名かつ)	<2030年に向けた指標> グループ全体の障がい者雇用率 3.2%以上(68名かつ以上) <3年後に向けた指標> グループ全体の障がい者雇用率 2.9%以上(61名かつ以上)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 26日
住 所 埼玉県さいたま市岩槻区本町4-1-1
県内企業等の名称 スクエアライン株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 加藤 幸将

スクエアライン株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念である「共に生きる」をテーマに掲げ、企業と求職者双方へのベストソリューションをご提供する独自の運営方針を貫き、地域社会の発展と雇用増進に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電子保存、管理両面印刷などを取り入れることで、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙年間使用量: 60,000枚	<2030年に向けた指標> コピー用紙年間使用量: 10%削減 <3年後に向けた指標> コピー用紙年間使用量: 3%削減
社会	IT導入により、派遣スタッフ管理のための事務作業を削減する。 <(現状値)2023年の数値> 1人あたりの派遣スタッフ管理事務の平均作業時間: 85分/月	<2030年に向けた指標> 平均作業時間: 10%削減 <3年後に向けた指標> 平均作業時間: 3%削減
経済	派遣スタッフへの技能講習受講費支援や、派遣先企業と連携して働きながら技能向上できる環境整備を行うことで、地域の雇用を増やす。 <(現状値)2023年の数値> 埼玉県内在住のスタッフ人数: 201名	<2030年に向けた指標> 埼玉県内在住のスタッフ人数: 329名 <3年後に向けた指標> 埼玉県内在住のスタッフ人数: 259名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 29日
住 所 埼玉県八潮市南川崎101-5
県内企業等の名称 NPO法人 読書普及協会 埼玉支部
代表者役職 氏名 理事 吉田 暁浄

NPO法人 読書普及協会 埼玉支部 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

年間7万冊もの新刊が出版され、多くの本が売れ残り大半が断裁される現状や本の製本時に生じる残紙の破棄などの『食品ロス』ならぬ『ブックロス』を改善するため、読者、書店、出版社が協力し合い持続可能な読書を普及していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	製本時に生じる残紙の再利用により廃棄される残紙を減少させる。 <(現状値)2023年の数値> 残紙の再利用:15,000枚使用	<2030年に向けた指標> 残紙の再利用 50,000枚/年 <3年後に向けた指標> 残紙の再利用 20,000枚/年
社会	後世に残すべきSDGsBOOKの選書及び発信。 <(現状値)2023年の数値> 選書数:450冊/年	<2030年に向けた指標> 選書数1500冊/年 <3年後に向けた指標> 選書数600冊/年
経済	年間7万冊の新刊が初版2000~8000冊で出版されることで断裁される本は1億冊以上。 大量生産・大量消費ではない出版のサイクルを提案する。 <(現状値)2023年の数値> 提案数:10社/年	<2030年に向けた指標> 提案数:20社/年 <3年後に向けた指標> 提案数:15社/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月12日
住 所 埼玉県春日部市粕壁東2-15-27
県内企業等の名称 エムケイ・コンサルティング株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 三輪 真久

エムケイ・コンサルティング株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

エムケイ・コンサルティング株式会社は、SDGs達成に向けあらゆる情報にアンテナを立てながら取組
を行ってまいります。自社が直接取組を実施することのみならず、埼玉県内の中小企業に対し、
SDGsの理解と行動を促すために、各種団体と連携しながら講演の実施やワークショップの開催を実
施していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動を行う中で、デジタル化を推進することにより紙の削減を行う。紙の削減とデジタル化推進に賛同する取引先に対し、エコバックを配布する等の取り組みを行い3Rの推進にも貢献する。 <(現状値)2023年の数値> 紙の年間使用量:35,328枚	<2030年に向けた指標> 紙の年間使用量 17,850枚 <3年後に向けた指標> 紙の年間使用量 22,000枚
社会	県内企業の労働環境の健全化を目指し、中小企業に対し、経済産業省が運営する『健康経営優良法人制度』への取り組み推進と認定サポートを行う。 <(現状値)2023年の数値> 埼玉県健康宣言事業所サポート:12社/年	<2030年に向けた指標> 40社/年 <3年後に向けた指標> 20社/年
経済	自然災害発生時にも事業活動の継続及び早期の回復を行えるように、県内中小企業に対しBCP策定を促す。その第一歩として中小企業庁の『事業継続力強化計画認定』の制度を広く周知し認定をサポートする。 <(現状値)2023年の数値> 埼玉県内企業の事業継続力強化計画認定サポート企業数:8社/年	<2030年に向けた指標> 20社/年 <3年後に向けた指標> 10社/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月14日
住 所 埼玉県鴻巣市東一丁目1-25
県内企業等の名称 社会福祉法人元気村
代表者役職 氏名 理事長 神成 裕介

社会福祉法人元気村 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

平成5年に創業以来「家族主義」「現場主義」をモットーに、安心安全な生活はもちろん、ご利用者一人ひとりの「生きがい」まで追求し必要なことは積極的に取り組み、様々なニーズに応え地域に貢献すべく取り組みを進めて参りました。SDGsは元気村が「共に生きる」の理念のもとに取り組んできた諸課題と重なり合うものです。私たちはこれまでの取り組みをSDGsのフレームを通して整理し、2030年のゴール目指して地域から世界に広がる感動介護を実現し、すべての人が元気に笑顔で楽しく「共に生きる」社会を目指したいとの思いから、コミットメントを宣言することとしました。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	業務のIT化により、ペーパーレスを図っていく。 <(現状値)2022年度の数値> 複合機カウンター使用枚数:988,530枚/年	<2030年に向けた指標> 複合機カウンター使用枚数:10%削減(令和4年度比) <3年後に向けた指標> 複合機カウンター使用枚数:5%削減(令和4年度比)
社会	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ・女性の管理職割合:42.2% ・高齢者の雇用比率:17.5%	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合:55%, 高齢者の雇用比率:25% <3年後に向けた指標> 女性の管理職割合:45%, 高齢者の雇用比率:22.7%
経済	BPRを導入し業務フローを見える化し、生産性を上げ、高品質のサービス提供を可能にし、従業員満足度を高める。 <(現状値)2022年の数値> 事務作業時間:47,745時間/年	<2030年に向けた指標> 事務作業時間:20%削減 <3年後に向けた指標> 事務作業時間:5%削減

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月6日
住 所 埼玉県志木市中宗岡1-3-34
県内企業等の名称 関口工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 星野 博之

関口工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「ものづくりを通したひとづくりによって時代のニーズに対しタイムリーにこたえ顧客の高い評価を受ける」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動によるCO ₂ 排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 二酸化炭素排出量:244t ※2020年の数値:200t	<2030年に向けた指標> 二酸化炭素排出量:3%削減 2020年比 <3年後に向けた指標> 二酸化炭素排出量:1%削減 2020年比
社会	社員参加型・社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:6回/年・のべ30名	<2030年に向けた指標> 街の美化活動:12回/年・のべ60名 <3年後に向けた指標> 街の美化活動:6回/年・のべ30名
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 女性の雇用率:34.7%	<2030年に向けた指標> 女性の雇用率:35% <3年後に向けた指標> 女性の雇用率:35%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月8日
住 所 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4-130
県内企業等の名称 公益財団法人 埼玉県公園緑地協会
代表者役職氏名 理事長 安藤 宏

公益財団法人埼玉県公園緑地協会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当財団は、埼玉県内の公園その他の公共施設の管理運営に関する事業を通じて、緑豊かな憩いの環境を創造するとともに、スポーツ・レクリエーション等の場を提供し、県民の健康の増進に寄与することを目的としている。SDGsに取り組むことは、当協会の目的に資するとともに、快適で楽しい公園空間を提供し、持続可能で住み続けられるまちづくりの実現に貢献することにも繋がる。

また、公園は多様な人々が利用できる憩いの場であり、環境保全、防災機能など、今や人々の生活になくてはならない社会基盤の一つであるといえることから、財団の事業を通じて、公園の重要な社会基盤としての機能を充実させ、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境に対する関心を高めることを目的とした観察会やエコスタジアムなどリサイクル事業の実施および動物園や水族館での飼育や餌やり事業などの体験学習の実施。 <(現状値)2022年の数値> 2022年度参加者数:延べ397,338人	<2030年に向けた指標> 参加者数 延べ630,000人 <3年後に向けた指標> 参加者数 延べ615,000人
社会	ボランティア、NPO、大学、各種団体などとの連携・共同による魅力ある公園づくりの推進。 <(現状値)2022年の数値> 2022年度参加者数:延べ11,523人	<2030年に向けた指標> 活動参加者数 延べ15,000人 <3年後に向けた指標> 活動参加者数 延べ13,000人
経済	仕事と子育てが両立できる職場環境を作る。 <(現状値)2022年の数値> 男性職員の育児休業取得率:20%	<2030年に向けた指標> 男性職員の育児休業取得率:50% <3年後に向けた指標> 男性職員の育児休業取得率:40%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年3月5日

住 所 埼玉県北足立郡伊奈町内宿台六丁目26番地

県内企業等の名称 公益財団法人いきいき埼玉

代表者役職 氏名 理事長 永沢 映

公益財団法人いきいき埼玉 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当財団は、NPO活動、ボランティア活動、生涯学習活動、その他広く県民等の諸活動の支援及び高齢者の生きがいづくりや地域参加を促進する事業及び高齢者の就業機会の提供等に関する事業を行う。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー効率の良い設備導入により、エネルギー使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量 H25年度比 41%削減 (H25年度の数値:1,069,541kg-CO2)	<2030年に向けた指標> CO2排出量 H25年度比 50%削減 <3年後に向けた指標> CO2排出量 H25年度比 45%削減
社会	社会貢献活動に取り組む人材の育成を図る。 <(現状値)2022年の数値> 育成事業参加者数:231人	<2030年に向けた指標> 育成事業参加者数(累計):1,600人 <3年後に向けた指標> 育成事業参加者数(累計):720人
経済	高齢者に柔軟かつ多様な働き方を提供し、新たな労働力の確保に資する。 <(現状値)2022年の数値> シルバー人材センター会員数:45,294人	<2030年に向けた指標> 会員数:48,600人以上 <3年後に向けた指標> 会員数:47,700人以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月19日

住 所 埼玉県春日部市中央1-8-7 プレジデント2階

県内企業等の名称 株式会社キャリア・サポート・パートナーズ

代表者役職 氏名 代表取締役 糟谷 幸一

株式会社キャリア・サポート・パートナーズ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は障害者の就労支援を通じて、多様な人材が活躍出来る社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	3Rの推進に取り組み、ペーパーレス化を行い、ごみの削減に繋げる。 <(現状値)2023年の数値> 紙の削減率:50%(10,000枚使用/年) ※宣言当初の現状値20,000枚/年を基準	<2030年に向けた指標> 紙の削減率80%(4,000枚使用/年) <3年後に向けた指標> 紙の削減率65%(7,000枚使用/年)
社会	障害者の相談援助を行い、道筋を立てるための支援を行う。 <(現状値)2023年の数値> 相談援助件数:100件	<2030年に向けた指標> 相談援助件数:120件 <3年後に向けた指標> 相談援助件数:110件
経済	障害者の就労支援を行い、障害者の就職・定着の支援を行う。 <(現状値)2023年の数値> 就職件数:12件/年・のべ31件 半年後職場定着率:97%	<2030年に向けた指標> 就職件数10件/年・のべ101件 半年後職場定着率:98% <3年後に向けた指標> 就職件数10件/年・のべ61件 半年後職場定着率:98%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月23日
住 所 埼玉県久喜市河原井町23-4
県内企業等の名称 太平化成株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 百目鬼 健

太平化成株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、半世紀以上にわたる有機溶剤リサイクルを中心とする事業展開により、廃棄物の発生抑制(R eduse), 再使用(Reuse), 再生使用(Recycle)の推進に努めてきた。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、今後も「環境に配慮した生産活動の推進及び再資源化型製品の市場提供を通じ、限りある資源の有効活用に繋げ、地球環境の保全に貢献していく」ことにより、SDGsの達成に寄与していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	有機溶剤マテリアルリサイクルの展開を維持・拡大させる。 BCP(事業継続計画)を確立する。 <(現状値)2023年の数値> ・蒸留品生産量:12800トン ・BCP:取引先との協力関係構築中	<2030年に向けた指標> 蒸留品生産量:14000トン BCPを安定的に運用する <3年後に向けた指標> 蒸留品生産量:13700トン BCPを完成させる
社会	職業教育を充実させる。 社員参加型の地域美化活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ・職業教育:部署ごとの教育(3~4件), 改善活動(1件), 全体での教育訓練(2件)を実施 ・地域美化活動:1回・のべ40人	<2030年に向けた指標> 職業教育:持続可能な事業展開に向け、範囲を広げ7件/年 地域美化活動:2回/年・のべ80人 <3年後に向けた指標> 職業教育:安全,法令遵守,化学物質対策を中心に6件/年 地域美化活動:1回/年・のべ40人
経済	環境対策を含む新たなニーズへの対応に向けたリサイクル品の設計開発に取り組む。 既存品においても、問題点の解消に向けたリサイクル方法の設計開発に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> ・設計開発件数:新たなニーズへの対応で2件/年	<2030年に向けた指標> 設計開発件数:3件/年 <3年後に向けた指標> 設計開発件数:3件/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 7日
住 所 埼玉県富士見市西みずほ台一丁目2番地12
県内企業等の名称 大東ガス株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 清水 宏之介

大東ガス株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営計画である「Jump Up 2030」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	他エネルギーからの燃料転換などを通し、環境にやさしい都市ガスの普及促進を行うことで、環境負荷の低減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 都市ガス設置件数:121,867件	<2030年に向けた指標> 2030年度 都市ガス設置件数:140,000件 <取組開始3年後に向けた指標> 2026年度 都市ガス設置件数:132,600件
社会	安全・安心な暮らしを実現するため、都市ガスの安定供給、保安の確保を図る。 <(現状値)2022年の数値> ガスに起因する重大事故:0件 (死亡・人身事故)	<2030年に向けた指標> 2030年度 ガスに起因する重大事故:0件 <取組開始3年後に向けた指標> 2026年度 ガスに起因する重大事故:0件
経済	都市ガス導管網の拡大を通し、持続可能かつ強靱なインフラ整備を図り、低廉な都市ガスの利用拡大による地域経済の発展に寄与する。 <(現状値)2022年の数値> ガス導管延長数:1,076km	<2030年に向けた指標> 2030年度 ガス導管延長数:1,300km <取組開始3年後に向けた指標> 2026年度 ガス導管延長数:1,160km

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 22日
住 所 埼玉県富士見市羽沢二丁目5番48号
県内企業等の名称 特定非営利活動法人あおい系
代表者役職 氏名 理事長 豊田 淳一

特定非営利活動法人あおい系 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「あおい空のようにあおい海のように広く深い絆」
当法人は福祉サービスを提供している地域において、皆さんが住み心地良く、周りの方々と仲良く心豊かな生活ができるよう様々なサービスを開発あるいは活用して、私たちの支援が必要な方々だけでなく、地域の方々に喜んでいただけるような福祉事業を行うことで社会に貢献していくことを目指します。
この事により、SDGsの持続可能な開発目標に取り組んでいきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	障害、高齢、地域住民が住みやすいインフラ、人的資源、福祉サービスを整え、住みやすい街へ向上させる。 <(現状値)2023年の数値> ①法人事業所:19事業所(事務所支所含む) ②福祉圏域:2地域	<2030年に向けた指標> ①法人事業所30か所 ②福祉圏域10地域5事業所以上 <3年後に向けた指標> ①法人事業所20か所 ②福祉圏域3地域2事業所以上
社会	子ども食堂の開設運営。 障害者等の社会参加と家族との同居をできる限り行えるよう支援していく。 <(現状値)2023年の数値> ①子ども食堂の開設:2023年3月開設 ②障害者雇用率:障害者雇用3名、2.3%	<2030年に向けた指標> ①子ども食堂の運営 ②障害者雇用率15%(約15名の雇用) <3年後に向けた指標> ①子ども食堂の運営 ②障害者雇用率10%(約10名の雇用)
経済	テレワーク・在宅勤務を充実し、勤務時間にこだわらない勤務体制を構築する。 <(現状値)2023年の数値> ①管理職の男女比 6:4 ②事務・間接処遇勤務者の在宅勤務率:在宅勤務者数16名、在宅勤務率約12%	<2030年に向けた指標> ①管理職の男女比率を1:1にする ②在宅勤務率80% <3年後に向けた指標> ①管理職の男女比率を6:4にする ②在宅勤務率30%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月8日
住 所 埼玉県比企郡嵐山町古里1848
県内企業等の名称 社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団
代表者役職 氏名 理事長 黛 昭則

社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当法人は経営理念である「利用者、職員、地域社会がお互いに支えあい、共に歩む施設を目指し、地域福祉に貢献する」に基づき、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ報告を目指すものであり、職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO ₂ 排出量の削減 <(現状値)2023年の数値> 公用車のうち環境配慮型車両の割合:21.7%	<2030年に向けた指標> 公用車のうち環境配慮型車両の割合:100% <3年後に向けた指標> 公用車のうち環境配慮型車両の割合:39.7%
社会	県の福祉を支えるセーフティネット <(現状値)2023年の数値> 重度障害者(障害支援区分5・6)の受入割合:94.6%(定員:625人)	<2030年に向けた指標> 重度障害者(障害支援区分5・6)の受入れ割合:90%以上維持 <3年後に向けた指標> 重度障害者(障害支援区分5・6)の受入れ割合:90%以上維持
経済	入所児童の児童自立支援の推進 <(現状値)2023年の数値> 児童養護施設入所児童の大学等進学率:38.9%	<2030年に向けた指標> 児童養護施設入所児童の大学等進学率:46% <3年後に向けた指標> 児童養護施設入所児童の大学等進学率:40%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月7日
住 所 埼玉県三郷市彦野1丁目81番地
県内企業等の名称 株式会社ヤマモトジオサーブ
代表者役職 氏名 代表取締役 山本 正治

株式会社ヤマモトジオサーブ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ヤマモトジオサーブは、「誠実であること」を社訓とし、安全・迅速・正確な調査を実施することで、地域社会に貢献します。「誠実であり続ける」ことを原点に、50年先のヤマモトジオサーブを見据え、「自助」「共助」「公助」をキーワードに、SDGs達成に向け、企業としての取り組みを考えます。今までも行ってきた自社の取り組みについては、SDGsの目標に照準を合わせて、さらに強化します。【=強化取組】 また、小さな企業でも実行可能な率先行動を組み込み、意識的にSDGs達成に向けた取り組みを励行します。【=先攻取組】

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地域の河川・水路の保全活動に積極的に参画することで、地域の豊かな環境と原風景を次世代へ継承することを目指す。 <(現状値)2023年の数値(3年累計)> 第二大場川:1回2名 江戸川クリーン:2回3名 上彦名地区用水路:5回28名 3年間延べ 参加人数33名	<2030年に向けた指標> 第二大場川:年2回、上彦名地区用水路:年6回の清掃活動、参加人数2020年より累計200人 <3年後に向けた指標> 第二大場川:年1回、上彦名地区用水路:年3回の清掃活動、参加人数2020年より累計90名
社会	地域の方々に役立つ情報の提供や、防災についての啓発活動を通じて、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応能力の強化を目指す。 <(現状値)2023年の数値(3年累計)> 講座・講習・相談会:自主開催は未実施 ※他相談会や講習会の相談員や講師実績はあり 延べ11回	<2030年に向けた指標> 講座・講習・相談会開催累計20回、受講者2020年より累計300人 <3年後に向けた指標> 年1回地元での出前講座を開催、受講者2020年より累計50人
経済	「誠実な調査を安全・迅速・正確に実施し、高品質で信頼性の高い成果を納入する」「技術開発を促進する」ことで、強靱なインフラ構築、持続可能な社会の実現を目指す。 <(現状値)2023年の数値> 作業班5班、技術士1名、地質調査技士8名、測量士1名、土木施工管理技士2名	<2030年に向けた指標> ご依頼者様の信頼からもたらされる受注の増加、作業班の増設(作業班8班)、資格取得(技術士3名、地質調査技士11名、その他資格5名増)※対2020年 <3年後に向けた指標> 作業班の増設(作業班6班)、技術継承・資格取得(地質調査技士11名、その他資格2名増)※対2020年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月24日
住 所 埼玉県戸田市箕目北町15番地の1
県内企業等の名称 野崎興業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 野崎 鉄也

野崎興業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

循環型社会を目指す企業として、「資源の有効活用促進」で持続可能な社会の実現に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷低減に有効であるエコリサイクル ソイルとエコ黒土の販売 <(現状値)2023年の数値> 販売実績:55,000㎡	<2030年に向けた指標> 20%増 <3年後に向けた指標> 10%増
社会	社会貢献活動の推進及び支援 <(現状値)2023年の数値> ①彩の国ロードサポート活動:5回/年・延 べ34人 ②各団体への支援:14件	<2030年に向けた指標> ①6回以上/年・延べ42人 ②各団体への支援:20件 <3年後に向けた指標> ①6回以上/年・延べ36人 ②各団体への支援:18件
経済	多様な働き方改革を推進する <(現状値)2023年の数値> 定年後再雇用率:4%	<2030年に向けた指標> 15% <3年後に向けた指標> 9%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 22日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区岸町5-7-11
県内企業等の名称 株式会社ユーディケー
代表者役職 氏名 代表取締役社長 関根 信次

株式会社ユーディケー はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「自然を活かし、快適な生活環境をつくる。」に基づき地域社会の発展向上に寄与する。この基本理念は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	本社の二酸化炭素排出量(都市ガス・電気・ガソリン使用量)の削減を図る。 <(現状値)2023年の数値> 127.8t-CO2(R4.4~R5.3)	<2030年に向けた指標> 121.41t-CO2:5%削減 <3年後に向けた指標> 125.9t-CO2:1.5%削減
社会	さいたま緑のトラスト基金の寄付額を増額する。 <(現状値)2023年の数値> 寄付額:10万円/年	<2030年に向けた指標> 寄付額:15万円/年 <3年後に向けた指標> 寄付額:12万円/年
経済	埼玉県健康経営認定制度に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 認定基準点:78点	<2030年に向けた指標> 認定基準点:90点 <3年後に向けた指標> 認定基準点:80点

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県入間郡毛呂山町大字毛呂本郷38
県内企業等の名称 社会福祉法人 埼玉医療福祉会
代表者役職 氏名 理事長 丸木 清之

社会福祉法人 埼玉医療福祉会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

・当法人の基本理念である「限りなき愛」～ Eternal Love & Care for All～ ならびに、基本理念である「すべての病める人々にまごころを持って臨みます」については、国連が定めたSDGsの基本的な考え方と極めて親和性が高いと考えます。
・したがって、SDGsの理念の十分な理解のもとに、当法人の事業計画を着実に遂行していくことがSDGs達成につながると確信しております。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減 <(現状値)2022年の数値> 電気使用量:0.9%増加 ※基準:2020年度電気使用量535万kwh (単位面積当たり)の平均値に対する伸び率 ※著しい気候変動の場合は調整あり	<2030年に向けた指標> 電気使用量の削減:6% <3年後に向けた指標> 電気使用量の削減:2%
社会	新型コロナに負けない地域づくりのため虚弱予防 <(現状値)2022年の数値> 近隣市町村と連携したフレイル予防・効果検証 (HAPPINESS館):延べ人数40,123名(累計) ※基準:2020年度17,357人以後の年間延べ人数を累計	<2030年に向けた指標> 2020年からの累計利用者数:147,100人 <3年後に向けた指標> 2020年からの累計利用者数:93,600人
経済	より多くのやる気のある人に質の高い教育機会を提供 <(現状値)2022年の数値> 奨学金制度の創設による就業支援:3人/年	<2030年に向けた指標> 奨学金利用者数:5人以上/年 <3年後に向けた指標> 奨学金利用者数:3人以上/年

【記載留意点】

・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
・指標は原則として数値目標を記載してください。
・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2 月 16 日
住 所 埼玉県川口市栄町1-4-16
県内企業等の名称 株式会社コマーム
代表者役職 氏名 代表取締役社長 小松 秀人

株式会社コマーム はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「子育てにしあわせな社会の創造」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。当社は、保育・子育て支援サービス企業として「子育てにしあわせな社会の創造」を理念としています。この理念の下、地域や社会の多様な人たちとパートナーシップを築きながら、子どもたちと未来のために、国際目標であるSDGsのさまざまな課題解決を全社活動につなげ、取り組んでいきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	運営する施設等において、様々な環境プログラムの実施していく。 <(現状値)2023年の数値> ・環境プログラム:90事業	<2030年に向けた指標> 環境プログラム100事業 <3年後に向けた指標> 環境プログラム90事業
社会	子ども虐待防止オレンジリボン運動を社内活動を充実させる一方、地域ネットワークを拡大し、広く地域に運動の浸透を図る。 <(現状値)2023年の数値> ・地域ネットワーク企業・団体・機関等:48企業・団体等 ・オレンジリボンファミリー世帯:5278世帯	<2030年に向けた指標> 地域ネットワーク100企業・団体 オレンジリボンファミリー7000世帯 <3年後に向けた指標> 地域ネットワーク50企業・団体 オレンジリボンファミリー5500世帯
経済	弊社が運営する施設及び本社においてSDGsの取組みを拡大していく。 <(現状値)2023年の数値> ・SDGs事業:269事業(累計)	<2030年に向けた指標> SDGs事業 300事業(累計) <3年後に向けた指標> SDGs事業 270事業(累計)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 21日
住 所 埼玉県鶴ヶ島市松ヶ丘2-17-1
県内企業等の名称 株式会社ジェービーエム事業本部
代表者役職 氏名 代表取締役CEO 土屋 亮太郎

株式会社ジェービーエム事業本部 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様のニーズを超えたサービスを提供します」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組む事によりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温室効果ガスの排出を削減する。 <(現状値)2023年の数値> ・社有車のハイブリット化:9台(15台中9台)	<2030年に向けた指標> 社有車ハイブリッド化100% (15台中15台) <3年後に向けた指標> 社有車ハイブリッド化66% (15台中10台)
社会	地域美化運動および清掃作業 <(現状値)2023年の数値> ・会社前100m区画の清掃作業:2回/月	<2030年に向けた指標> 道路や公園等の公共施設の清掃作業:1回/週 <3年後に向けた指標> 会社前100m区画の清掃作業:1回/週
経済	多様な働き方を推進し、老若男女問わない雇用を行う。 <(現状値)2023年の数値> ・女性管理者:20人 ・高齢者(60歳以上)の雇用者数:20%(45人/220人)(65歳定年)	<2030年に向けた指標> 女性管理者:30人 高齢者の雇用:40%(70歳定年) <3年後に向けた指標> 女性管理者:26人 高齢者の雇用:35%(70歳定年)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日

住 所 埼玉県川口市中青木2-13-21

県内企業等の名称 青木信用金庫

代表者役職 氏名 理事長 木滝 崇弘

青木信用金庫

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念は、中小企業の健全な発展と豊かな家庭づくりを目指す青木信用金庫の経営理念と相通じるものです。当金庫が地域のために行うひとつひとつの活動が、SDGsの目標達成につながるという信念を持ち、積極的に取り組んでまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコカーをご購入されるお客さまに割引金利を適用するローン商品「カーライフプラン・エコ」を実行する。 <(現状値)2023年の数値> 2021年～2023年累計:301件	<2030年に向けた指標> 「カーライフプラン・エコ」実行累計1,000件 <3年後に向けた指標> 「カーライフプラン・エコ」実行累計600件
社会	金庫職員による献血を行う。 <(現状値)2023年の数値> 2021年～2023年累計:253人	<2030年に向けた指標> 献血参加職員累計500人 <3年後に向けた指標> 献血参加職員累計300人
経済	事業承継、販路拡大、経営改善支援などの事業先に対する経営支援を行う。 <(現状値)2023年の数値> 2021年～2023年累計:3,406件	<2030年に向けた指標> 事業先に対する経営支援累計4,000件 <3年後に向けた指標> 事業先に対する経営支援累計3,600件

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月31日
住 所 埼玉県志木市本町3-1-61
県内企業等の名称 東上ガス株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 角田 信義

東上ガス株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は企業理念である『人と地域により添い、笑顔溢れる生活を支えます』をテーマに社会インフラであるLPガスの安定供給及び安心して暮らせる地域社会の構築に向けた取組みを行ってまいります。この理念及び取組みはSDGsが目指す方向と同じであり、真摯かつ継続的に取組むことで、SDGsの達成に貢献していく所存でございます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減に向けて、お客様に対してエコ製品の設置を促進をし、社内では再生可能エネルギーの利用率向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①高効率給湯器の設置率:50% ②再エネ100%電源の使用率:100%	<2030年に向けた指標> ①90% ②100% <3年後に向けた指標> ①60% ②100%
社会	高齢者の増加や災害対策、人手不足などの社会課題解決に向けて、『安心して暮らせる社会』の構築に向けた活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①LPWA設置:73% ②SIセンサーコンロ設置率:72%	<2030年に向けた指標> ①100% ②100% <3年後に向けた指標> ①80% ②80%
経済	多様な働き方や資格取得を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①外国人、障害者雇用:5名 ②女性管理職:2名 ③定年後再就職率:100%	<2030年に向けた指標> ①7名 ②5名 ③100% <3年後に向けた指標> ①5名 ②3名 ③100%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 1日
住 所 埼玉県春日部市中央2-14-3
県内企業等の名称 株式会社 プライム・ワン
代表者役職 氏名 代表取締役 石塚 歩

株式会社 プライム・ワン はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たち(株)プライム・ワンは経営理念である『お客さまにあった最上級のご提案・最上級のサービスを提供する』に基づき、損害保険・生命保険販売を通じ、「財産リスク」「売上・費用リスク」「人的リスク」「賠償リスク」「事業継承リスク」などの様々なリスクからお客さまをお守りするとともに、「経営コンサルティングサービス」や「BCP策定支援」等により、お客さまのリスクを気づかせ、それに対する防御策を提示することでSDGsの取り組み支援を行っていきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	所有するパソコンやタブレット端末の画面上で契約や変更手続き(かんたんモード)を完結させ、ペーパーレス化することにより環境負荷低減を促進させる。 <(現状値)2023年の数値> かんたんモード・ネット手続き率:91.3%(かんたんモード・ネット手続き1770件/全手続き数1939件) ※宣言当初の目標達成済	<2030年に向けた指標> かんたんモード・ネット手続き率:目標90%以上維持(年間) <3年後に向けた指標> かんたんモード・ネット手続き率:目標90%以上維持(年間)
社会	最新のテレマティクス技術を活用した『GK見守るクルマの保険』への加入を推進することにより、お客さまの安全運転をサポートするとともに、社会全体の自動車事故件数の減少を目指す。 <(現状値)2023年の数値> GK見守るクルマの保険加入率:9.9%(年間)(GK見守る保険加入507件/契約件数5135件)	<2030年に向けた指標> GK見守るクルマの保険加入率:目標20%(年間) <3年後に向けた指標> GK見守るクルマの保険加入率:目標12%(年間)
経済	法人様にBCP策定支援をすることでお客さまのリスクを気づかせ、それに対する防御策を提示することで法人様のSDGs推進と経済的成長・経営基盤の安定化を目指す。 <(現状値)2023年の数値> BCP策定ご提案法人数:6社(年間)	<2030年に向けた指標> BCP策定ご提案法人数:15社(年間) <3年後に向けた指標> BCPご提案法人数:8社(年間)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月3日
住 所 埼玉県川越市天沼新田245-29
県内企業等の名称 くすのき経営資源研究所
代表者役職 氏名 代表 正木 一弘

くすのき経営資源研究所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当研究所は経営理念である「笑顔の似合う会社とお店のパートナー」に基づいて行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	コピー用紙の使用枚数の削減を図る。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙の使用枚数:年間約1,080枚	<2030年に向けた指標> コピー用紙の使用枚数の削減:20% <3年後に向けた指標> コピー用紙の使用枚数の削減:10%
社会	埼玉県SDGsパートナー登録、埼玉県環境SDGs取組宣言等の取組を企業に提案し、推進することで、持続可能な社会の実現を目指す。 <(現状値)2023年の数値> 登録・宣言等の支援数累計:7社	<2030年に向けた指標> 登録・宣言等の支援数累計:12社 <3年後に向けた指標> 登録・宣言等の支援数累計:9社
経済	地域資源(地場産)の利用を促進する企業や団体の販売促進や商品企画等を支援する。 <(現状値)2023年の数値> 支援数累計:7社	<2030年に向けた指標> 支援数累計:15社 <3年後に向けた指標> 支援数累計:10社

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月2日
住 所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-8
県内企業等の名称 株式会社武蔵野銀行
代表者役職氏名 頭取 長堀 和正

株式会社武蔵野銀行 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

武蔵野銀行は、地域経済の持続的発展に貢献するため、金融仲介機能を発揮するとともに、お客さま本位の業務運営を常に実践します。
産業や雇用、まちづくりや生活など、持続可能な地域社会の創造に貢献するため、行政・企業・NPOなど多様な主体とのパートナーシップのもと取組みを行ってまいります。
気候変動や人権などの課題を自分ごとと捉え、グローバルな持続可能性に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①CO2排出量削減 ②生物多様性維持向上に資する活動支援 <(現状値)2022年度の数値> ①2013年度の排出量に対し19.4%削減 ②支援のべ331団体(1992年より累計)	<2030年に向けた指標> ①2013年度比 70%削減 ②支援のべ500団体 <3年後に向けた指標> ①2013年度比 40%削減 ②支援のべ400団体
社会	①社会貢献活動への参加・②経済的支援 <(現状値)2022年度の数値> ①活動参加:のべ20人 ②経済的支援:のべ15,425人	<2030年に向けた指標> ①のべ500人 ②のべ45,000人 <3年後に向けた指標> ①のべ200人 ②のべ30,000人
経済	①多様な人材の活躍推進 ②取引先企業の持続可能な経営を支援 <(現状値)2022年度の数値> ①女性管理職割合:25.3% ②サステナブルファイナンス累計実行額: 1,886億円	<2030年に向けた指標> ①30.0%以上 ②10,000億円 <3年後に向けた指標> ①30.0%以上 ②5,000億円

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 3月 5日
住 所 埼玉県さいたま市南区别所2-29-8
県内企業等の名称 株式会社彩の国でんき
代表者役職 氏名 代表取締役 吉村 文則

株式会社彩の国でんき はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念は「(1)既存の太陽光発電をはじめとする自然エネルギー電力を集め、県内の需要者(家庭、企業、医療・福祉・教育機関、自治体施設等)に適正な価格で安定的に提供する。(2)この電力の小売事業によって生まれた利益を、医療・福祉・教育・環境・インフラの保全・防災など、県民生活の向上に役立てる。(3)県内に賦存する各種の自然エネルギーの開発・活用に取り組むとともに、県内での農林水産業をはじめとする地域経済、科学技術の振興に貢献する。(4)この取り組みを通じて、原子力や化石燃料に依存しない自然エネルギーによる地産地消の電力需給システムの構築に貢献する。」である。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> 再生可能エネルギー利用率:40%	<2030年に向けた指標> 再生可能エネルギー利用率:90% <取組開始3年後に向けた指標> 再生可能エネルギー利用率:70%
社会	純利益から地域社会へと還元する。また還元率の向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> 純利益から地域社会への還元率:0% ※事業開始後の一時期、電力市場価格の高騰により赤字経営となった。経営状況を見極めつつ還元の方策を検討している。	<2030年に向けた指標> 純利益から地域社会への還元率:80% <取組開始3年後に向けた指標> 純利益から地域社会への還元率:30%
経済	地域の事業者との取引の増加を図る。 <(現状値)2023年の数値> 取引のある地域の事業者数:30社/年	<2030年に向けた指標> 取引のある地域の事業者数:300社/年 <取組開始3年後に向けた指標> 取引のある地域の事業者数:60社/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 13日
住 所 埼玉県飯能市栄町24-9
県内企業等の名称 飯能信用金庫
代表者役職 氏名 理事長 松下 寿夫

飯能信用金庫 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

飯能信用金庫は、国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」に賛同し、当金庫の経営理念、基本方針に基づき、地域の住民と中小企業の信頼できるパートナーとして地域社会の発展に寄与することで、2030年のゴールに向け持続可能な社会の実現に努めてまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙資源や印刷資源の削減を図る。 <(現状値)2021年の数値> コピー用紙の購入枚数 12百万枚 (2019年度 16百万枚) ※集計は2021年度の数値	<2030年に向けた指標> 8百万枚 <3年後に向けた指標> 10百万枚
社会	地元社会の金融リテラシーを普及するため、地元大学と連携し金融に関する寄附講座を展開する。 <(現状値)2022年の数値> 大学3校、38講座/年、受講者延べ762人 ※集計は2022年度の数値	<2030年に向けた指標> 大学4校、45講座/年 受講者延べ2,400人(2020年度~2030年度の累計) <3年後に向けた指標> 大学4校、40講座/年 受講者延べ1,600人(現時点から~2025年度の累計)
経済	取引先企業を増加させ、本業支援を行い、地域経済の発展に寄与する。 <(現状値)2021年の数値> 取引先企業558先増加(2019年度比) ※集計は2021年度の数値	<2030年に向けた指標> 取引先企業2,000先以上増加(2019年度比) <3年後に向けた指標> 取引先企業600先以上増加(2021年度比)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 24日
住 所 埼玉県深谷市岡部2574-1
県内企業等の名称 株式会社たきじ
代表者役職 氏名 代表取締役社長 小林 宏閣

株式会社たきじ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社では未来の豊かな地域社会実現のため、各個人の小さな努力の積み重ねが重要であるとの意識を高め行動し、SDGs目標達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量(電気)の削減に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> エネルギー使用量(電気):132,923kw/年	<2030年に向けた指標> エネルギー使用量(電気)の削減20% <3年後に向けた指標> エネルギー使用量(電気)の削減10%
社会	地場の農産物を使用し商品の開発に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 地場の農産物利用量:8%(10t)	<2030年に向けた指標> 地場の農産物利用量:30% <3年後に向けた指標> 地場の農産物利用量:15%
経済	多様な人材の雇用に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 高齢者・障がい者の雇用割合:25%(6人)	<2030年に向けた指標> 高齢者・障がい者の雇用割合:45% <3年後に向けた指標> 高齢者・障がい者の雇用割合:35%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日

住 所 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-4-3内田ビル6階

県内企業等の名称 特定非営利活動法人 共同生活推進協議会

代表者役職 氏名 理事 森嶋 英樹

特定非営利活動法人 共同生活推進協議会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当NPOは、SDGsの取組を自ら実施、公表することにより社会貢献活動・廃棄物・3Rの推進・省エネについてSDGs達成に向けた具体的な取組を促進し、企業等の価値向上及び競争力の強化を図るとともに、県が進める「埼玉版SDGs」を共に推進します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	コピー用紙使用枚数を削減する。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙使用枚数:850枚	<2030年に向けた指標> 2023年比 コピー用紙使用枚数20%削減 <3年後に向けた指標> 2023年比 コピー用紙使用枚数10%削減
社会	地域において防災・防犯活動開催を行う。 <(現状値)2023年の数値> 地域の防災・防犯活動開催回数:3回/年	<2030年に向けた指標> 地域において防災・防犯活動を主催あるいは共催で1回増加させる。 <3年後に向けた指標> 地域において防災・防犯活動で未参加のものに1回以上参加し、経験とネットワークを増加させる。(主催する開催回数は変わらず)
経済	各イベント実施におけるIT導入による宣伝活動を行う。 <(現状値)2023年の数値> IT導入による宣伝活動:10回/年	<2030年に向けた指標> 2回/年 以上増加 <3年後に向けた指標> 1回/年 以上増加

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日

住 所 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-4-3内田ビル6階

県内企業等の名称 株式会社とめきち

代表者役職 氏名 代表取締役 藤本 祥

株式会社とめきち はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、SDGsの取組を自ら実施、公表することにより社会貢献活動・3Rの推進・省エネ・水の管理・人材育成環境学習についてSDGs達成に向けた具体的な取組を促進し、企業等の価値向上及び競争力の強化を図るとともに、県が進める「埼玉版SDGs」を共に推進します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	コピー用紙使用枚数を削減する。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙使用枚数:2,550枚	<2030年に向けた指標> 2023年比 コピー用紙使用枚数20%削減 <3年後に向けた指標> 2023年比 コピー用紙使用枚数10%削減
社会	地域の事業者と「親と幼児向けベビーカー コンサート」開催を増加する。 <(現状値)2023年の数値> 開催回数:2回/年	<2030年に向けた指標> 1回/年 増加 <3年後に向けた指標> 2回/年 加えて類似の取組団体の視察など実施
経済	各イベント実施におけるIT導入によるプロ モーション活動を行う。 <(現状値)2023年の数値> IT導入によるプロモーション活動:10回/ 年	<2030年に向けた指標> 2回/年 以上増加 <3年後に向けた指標> 1回/年 以上増加

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県戸田市本町4-3-1
県内企業等の名称 株式会社ナックプランニング
代表者役職 氏名 代表取締役 藤本 祥

株式会社ナックプランニング はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念である「地域に密着したハウズドクターとして地域社会に貢献する。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方法を向くものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組みることにより、SDGsの発展に貢献してゆく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	コピー用紙使用枚数を削減する。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙使用枚数:20,400枚	<2030年に向けた指標> 20%削減 <3年後に向けた指標> 10%削減
社会	従業員の年次休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2023年の数値> 平均年次休暇取得日数:5日	<2030年に向けた指標> 3日増加 <3年後に向けた指標> 1.5日増加
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 女性の管理職割合:6% 高齢者の雇用比率:5%	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合12%、高齢者の雇用比率10% <3年後に向けた指標> 女性の管理職割合9%、高齢者の雇用比率7%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 29 日

住 所 埼玉県白岡市下大崎888

県内企業等の名称 シナネンエコワーク株式会社 白岡リサイクルセンター

代表者役職 氏名 代表取締役社長 神田 勉

シナネンエコワーク株式会社 白岡リサイクルセンター はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「未来へ続く社会の構築」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	リサイクルセンター生産量あたり二酸化炭素排出量に関する原単位(全拠点の二酸化炭素総排出量/全リサイクルセンター生産量)を削減する。 <(現状値)2023年の数値> 二酸化炭素排出量原単位: 4.70 kg-CO2/t	<2030年に向けた指標> 二酸化炭素排出量原単位:4.23 kg-CO2/t <3年後に向けた指標> 二酸化炭素排出量原単位:4.47 kg-CO2/t
社会	社員参加型の地域美化活動を推進する。地域美化活動以外の社会貢献活動も行う。 <(現状値)2023年の数値> ①地域美化活動:6回/年・のべ12人 ②定期的な地域美化活動以外の社会貢献活動:2件/年	<2030年に向けた指標> ①地域美化活動:15回/年・のべ20人 ②社会貢献活動:3件/年 <3年後に向けた指標> ①地域美化活動:10回/年・のべ15人 ②社会貢献活動:2件/年
経済	法令順守、ハラスメント防止等の全社的学習機会の創出および記録(環境経営レポートによる開示も含む)を行う。 <(現状値)2023年の数値> 全社的学習機会の創出および記録:8件/年	<2030年に向けた指標> 全社的学習機会:10件/年 <3年後に向けた指標> 全社的学習機会:8件/年

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月7日
住 所 埼玉県東松山市六反町3-32-102
県内企業等の名称 株式会社メガテラフーズ 東松山第1事業所
代表者役職 氏名 代表取締役 宮腰 智裕

株式会社メガテラフーズ 東松山第1事業所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念(ビジョン)である「年齢(ねんれい)・性別(せいべつ)・障害(しょうがい)の区別(くべつ)なく働く(はたらく)ことを希望(きぼう)する者(もの)の就労(しゅうろう)と生活(せいかつ)の場(ば)を創(つく)る。」に基づき、障がい者の社会的自立と持続可能な農業を進めていきます。この取り組みはSDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献するものと考え、より積極的に行動していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	持続可能な農業を目指すため、栽培に必要な肥料等の自給率を高める <(現状値)2023年の数値> 自給率:10%(200kg/全体2,000kg)	<2030年に向けた指標> 自給率 50%以上 <取組開始3年後に向けた指標> 自給率 30%
社会	障がい者就労継続支援サービス利用者の社会進出の手助けをするため、一般就労定着に向けより実践的な訓練を行う <(現状値)2023年の数値> 実績:1名	<2030年に向けた指標> 5名 一般就労定着者を送り出す <取組開始3年後に向けた指標> 2名 一般就労定着者を送り出す
経済	障がい者就労継続支援サービス利用者の経済的自立を後押しするため、サービス利用者の工賃向上を目指す <(現状値)2023年の数値> 月平均工賃:18,000円	<2030年に向けた指標> 月平均工賃50,000円以上 <取組開始3年後に向けた指標> 月平均工賃30,000円以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月7日
住 所 埼玉県鶴ヶ島市脚折町6丁目34番3号
県内企業等の名称 株式会社ウェイアンドアイ
代表者役職 氏名 代表取締役 馬橋 和弘

株式会社ウェイアンドアイ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「人・組織・社会のハピネス最大化」に基づき、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	商用車を環境配慮型車両とする。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮型車両:なし(0台/全体1台)	<2030年に向けた指標> 商用車を継続して100%環境配慮型車両とする <3年後に向けた指標> 商用車を100%環境配慮型車両とする
社会	弊社主催の社会貢献活動である①ハピネスフォーラム、②SDGsフォーラムを開催する。 <(現状値)2023年の数値> 社会貢献活動フォーラム:4回/年 寄付5万円	<2030年に向けた指標> 社会貢献活動フォーラム8回/年 寄付30万円 <3年後に向けた指標> 社会貢献活動フォーラム5回/年 寄付10万円
経済	社会の持続性の向上と企業成長の両立に資する新研修プログラムを開発する。 <(現状値)2023年の数値> 新研修プログラム:1件開発(2020年宣言当初からの累計)	<2030年に向けた指標> 新研修プログラム 5件開発(累計) <3年後に向けた指標> 新研修プログラム 2件開発(累計)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月28日
住 所 埼玉県和光市下新倉2-41-25
県内企業等の名称 和光市チームSDGs
代表者役職 氏名 代表 関口 寿子

和光市チームSDGs はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

市民活動としてSDGs達成で貢献できるポイントを考え、各種イベントなどを実施することで、多様な市民を巻き込みながら、SDGsの啓発、多文化多世代コミュニティの形成、地域課題の解決などを行うことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	物の交換会やバザー等を行い、廃棄されるはずだった衣類等をリユースに回す。 <(現状値)2023年の数値> 衣類等のリユース:毎月10kg	<2030年に向けた指標> 1tのリユース(累計) <3年後に向けた指標> 毎月10kg
社会	SDGsに関わるイベントを実施する。 <(現状値)2023年の数値> イベント実施:年1回	<2030年に向けた指標> 1年に1回以上のイベント実施 <3年後に向けた指標> 1年に1回以上のイベント実施
経済	SDGsの達成のため、地産地消の商品やオーガニック商品の購入、自給や自作等を行う。 <(現状値)2023年の数値> 0品目	<2030年に向けた指標> 毎年5品目以上 <3年後に向けた指標> 毎年3品目以上

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 17 日

住 所 埼玉県さいたま市桜区田島7-19-14

県内企業等の名称 藤田ゼロファン産業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 藤田 義夫

藤田ゼロファン産業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、創業以来30有余年培ってきたパルプ由来の製品技術を活かし、生分解性及びバイオマス度の高い環境配慮型の製品開発、普及を進めることを通じて、石油由来のプラスチック廃棄物等の削減、環境負荷の低減に貢献する。
この考えは、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、会社の方針としてワンチームで取り組むことにより、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	徹底的な使用素材の分別、リサイクル活用比率の向上を促進することにより環境負荷低減を図る。 <(現状値)2023年の数値> 再生素材の使用量:2,000kg	<2030年に向けた指標> 再生素材の使用を30%増やす <3年後に向けた指標> 再生素材の使用を20%増やす
社会	障害者自立支援、子供の健全育成等社会参加・社会貢献活動の推進を行う。 <(現状値)2023年の数値> 作業見学、実習受け入れ:小学・中学・高校で計4回	<2030年に向けた指標> 作業見学、実習受け入れ 計7回 <3年後に向けた指標> 作業見学、実習受け入れ 計5回
経済	生分解性及びバイオマス度の高い環境配慮型商品の開発、生産、普及を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮型商品の取り扱い:20,000kg	<2030年に向けた指標> 環境配慮型商品の取り扱いを30%増やす <3年後に向けた指標> 環境配慮型商品の取り扱いを10%増やす

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月7日
住 所 埼玉県東松山市六反町3-32
県内企業等の名称 株式会社メガテラ商品開発研究所
代表者役職 氏名 代表取締役 宮腰 智裕

株式会社メガテラ商品開発研究所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念(ビジョン)である
『年齢・性別・障害の区別なく働くことを希望する者の就労と生活の場を創る(ノーマライゼーション)』
を実現するため、障がい者・高齢者の雇用を積極的に行っていきます。
その活動が、「持続可能な開発目標」が目指す社会の実現にわずかながらも貢献出来ることを従業員
各自が認識し積極的に取り組んでいきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地域に貢献しながら持続可能な農業を目指すため、地産地消率を高める。 <(現状値)2023年の数値> 地産地消率:おおよそ 20% (800kg/全体4000kg)	<2030年に向けた指標> 地産地消率 30%以上 <3年後に向けた指標> 地産地消率 25%以上
社会	地域の障がい者や高齢者の雇用機会に貢献するため、一般雇用への発展も見据えて施設外就労制度を積極的に利用する。 <(現状値)2023年の数値> 利用実績:10回 (人 /四半期を1回とし延べ回数)	<2030年に向けた指標> 100回の施設外就労制度を利用 <3年後に向けた指標> 50回の施設外就労制度を利用
経済	ノーマライゼーションを実現するため、障がい者や高齢者の雇用を積極的に行う。 <(現状値)2023年の数値> 障がい者・高齢者雇用実績:0人	<2030年に向けた指標> 5人 <3年後に向けた指標> 1人

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 26日

住 所 埼玉県三郷市新三郷ららシティ2-2-2

県内企業等の名称 IKEA新三郷

代表者役職 氏名 マーケットマネジャー ヨル
ゲン・スヴェッドルンド

IKEA新三郷 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

2030年までのSUSTAINABILITY戦略として「PEOPLE AND PLANET POSITIVE」を掲げ、SDGsの17項目をすべて網羅したアクションプランを用意している。
そのなかでも注力して取り組むのは、下記の3つである
「Climate Change(気候変動)」
「Sustainable Energy(再生可能エネルギーの促進)」
「Equality(平等)」

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	使用電気量(kWh/m ²)の削減 <(現状値)2023年の数値> 使用電気量 108 (2010年 183) ※目標を達成しているため、さらなる向上に努める。	<2030年に向けた指標> 2010年の数値の40% <3年後に向けた指標> 2010年の数値の10%
社会	学校、児童養護施設、子ども食堂への家具、雑貨、などの寄付額 <(現状値)2023年の数値> 子ども募金活動 寄付額 170万円/年	<2030年に向けた指標> 子ども募金活動 寄付額 200万円/年 <3年後に向けた指標> 子ども募金活動 寄付額 170万円/年
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 女性の管理職割合:52.9% (男性16人 女性18人) ※目標を達成しているため維持に努める。	<2030年に向けた指標> 女性の管理職割合:50% <3年後に向けた指標> 女性の管理職割合:50%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。